magicolor® 5440 DL
ユーザーズガイド

4138-7747-06K

1800757-014F

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 5440 DL は、Windows、Macintosh の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。

http://printer.konicaminolta.jp　より " サポート " を選び、" オンラインユーザー登録 " にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または、登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または、登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者 (以下、譲受人) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

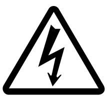
■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



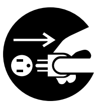
△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

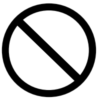
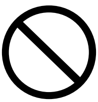
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

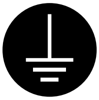
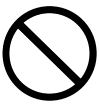
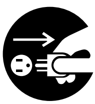
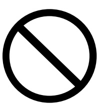


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

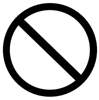
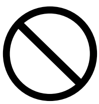
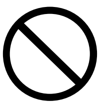
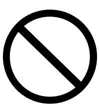
この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

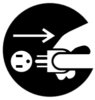
⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは､「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

もくじ

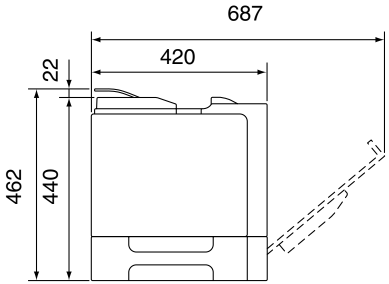
1 はじめに

お使いになる前に

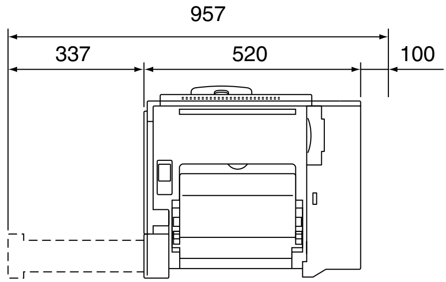
設置スペース

プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

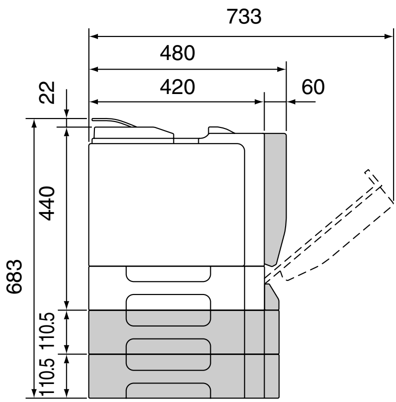
正面図



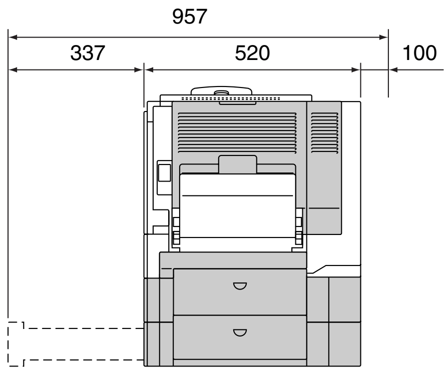
右側面図



正面図(オプション装着時)



右側面図(オプション装着時)



単位:mm

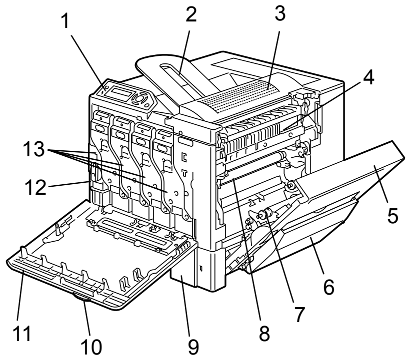
上記イラストの網掛け部はオプションです。

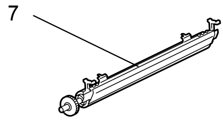
各部の名称

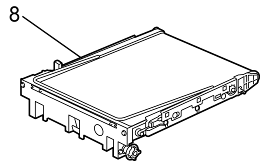
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

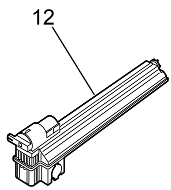
前面

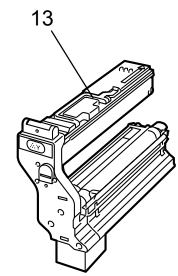
1　操作パネル
2　排紙トレイ
3　トップカバー
4　定着ユニット
5　右ドア
6　手差しトレイ
7　転写ローラー
8　転写ベルト
9　トレイ 1
10　取手
11　前ドア
12　廃トナーボトル
13　トナーカートリッジ





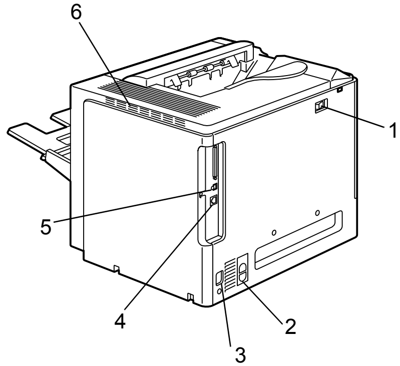






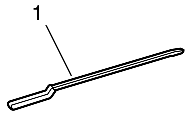
背面

1　電源スイッチ
2　オゾンフィルタ
3　電源インレット
4　10Base-T/100Base-TX（IEEE802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
5　USB ポート
6　排気ダクト



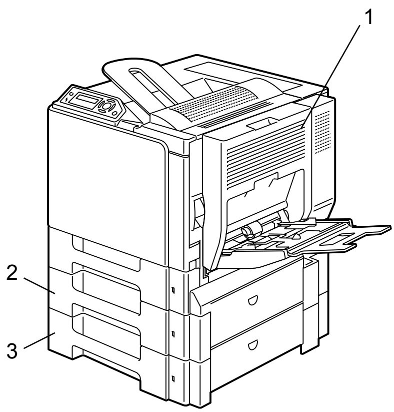
同梱品

1　レーザーレンズ清掃具



前面（オプション装着時）

1　両面プリントユニット
2　給紙ユニット（トレイ 2）
3　給紙ユニット（トレイ 3）



2 ソフトウェアについて

付属の CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/Server 2003/2000 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」（p.13）をごらんください。
プリンタドライバ （Windows Me/98SE 用）	
プリンタドライバ （Windows NT 4.0 用）	
プリンタドライバ （Macintosh OS X 用）	

Macintosh のプリンタドライバについては、「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリンタドライバのインストールについては、「magicolor 5440 DL インストレーションガイド」をごらんください。

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
ステータスディスプレイ （Windows のみ）	ステータスディスプレイでは、消耗品、エラー情報など、本プリンタの現在の状況を確認できます。 詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.26）をごらんください。
プリンタステータスモニタセンター（Windows のみ）	同一ネットワーク上のコニカミノルタ製品のステータスが確認できます。 詳しくは、「プリンタステータスモニタセンターの使いかた」（p.30）をごらんください。
PageScope Web Connection	ブラウザでプリンタのステータスの確認、各種設定の変更ができます。 詳しくは、「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨)
  - Power Mac G3 以降（G4 以降を推奨）
- オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows XP, Windows Server 2003, Windows 2000, Windows Me, Windows 98SE, Windows NT 4.0

    64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel Pentium4 が稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
  - Mac OS X 10.2 以降（最新のパッチの適用を推奨）

    Macintosh のプリンタドライバについては、「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
- 空きハードディスク容量：
  - 約 20 MB（プリンタドライバとステータスディスプレイ）
  - 約 128 MB（画像処理）
- メモリ：
  OS が推奨する以上
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート

    USB 接続でお使いの場合、以下の条件を満たしている必要があります。
    お使いのコンピュータに、Windows XP Home Edition/ Professional, Windows Server 2003, Windows 2000, Windows Me, Windows 98SE がインストールされていること。

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタドライバのインストールについては、「magicolor 5440 DL インストレーションガイド」をごらんください。Macintosh のプリンタドライバのインストールについては、「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP Home Edition の場合

  ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合

  ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

  ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows Me/98SE の場合

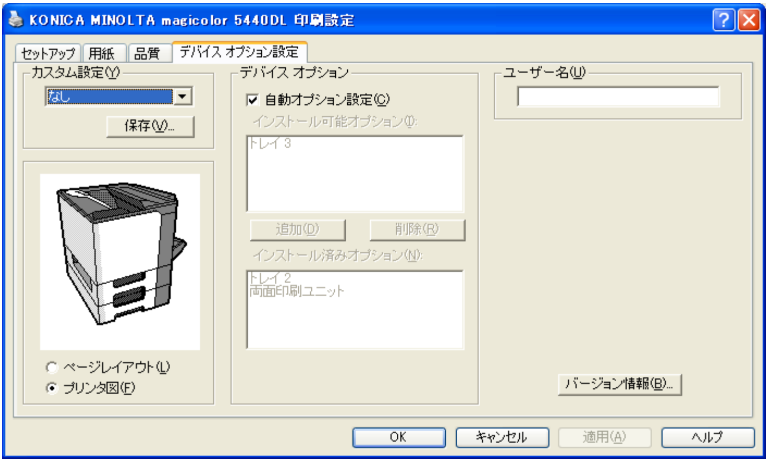
  ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プロパティ」タブをクリックします。

– Windows NT 4.0 の場合

  ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「デバイスオプション設定」タブをクリックします。

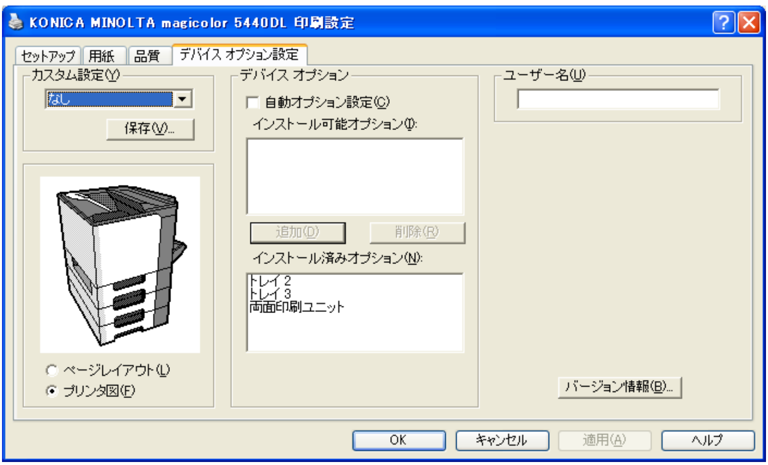


4 オプションが正しく認識されているか確認します。

本ドライバでは、初期設定でオプションの自動認識が設定されていますので装着済みのオプションは自動的に認識されます。何らかの理由で、オプションが正しく認識されていない場合は、手順 5 から 7 を行ってください。

5 「自動オプション設定」のチェックを外します。

6 「インストール可能オプション」から装着しているオプションを選択し（一度に 1 つ）、［追加］をクリックします。選択したオプションは、「インストール済みオプション」リストに移動します。



間違って装着していないオプションを追加した場合は「インストール済みオプション」リストからそのオプションを選択し、［削除］をクリックしてください。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 「セットアップ」、「用紙」、「品質」タブをクリックします。
使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については「プリンタドライバの使いかた」（p.14）をごらんください。

9 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

10 ［OK］をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール（Windows）

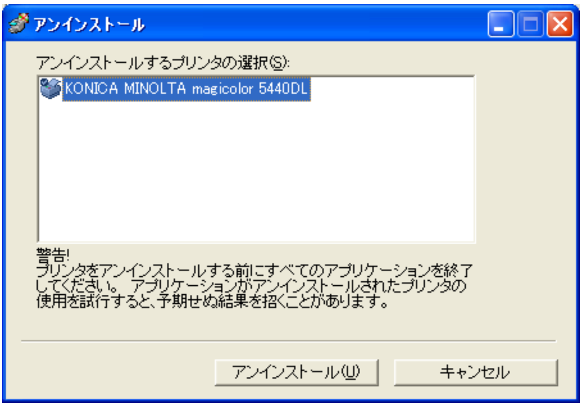
ここでは、magicolor 5440 DL プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

プリンタドライバのアンインストールは、管理者権限を持つユーザーのみが実行できます。

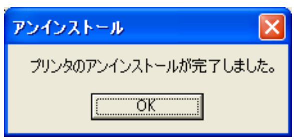
プリンタドライバのアンインストール

1 ［スタート］メニューから「プログラム」（Windows XP/Server 2003：「すべてのプログラム」）―「KONICA MINOLTA」―「magicolor 5440 DL」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

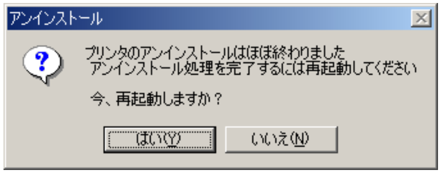
2 アンインストール画面で「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」を選択し、［アンインストール］をクリックします。



3 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。



Windows Me/98SE の場合、右図の画面が表示されます。
［はい］をクリックしてコンピュータを再起動してください。



プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

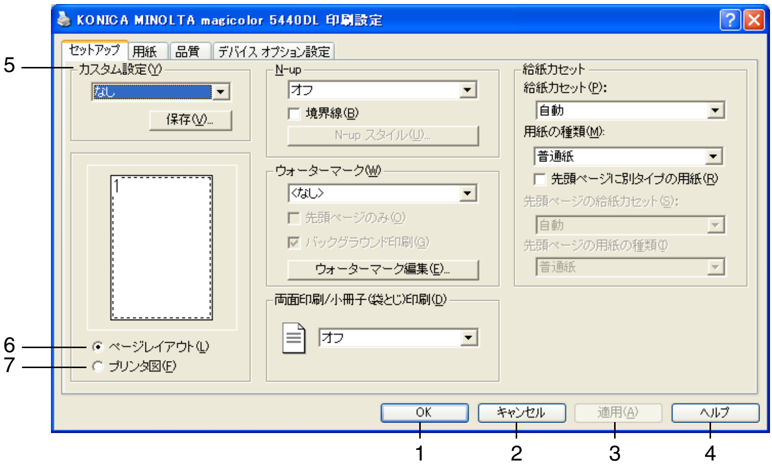
2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プロパティ」タブをクリックします。
- **Windows NT 4.0 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 5440DL」プリンタアイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」をクリックします。

プリンタドライバの使いかた

管理者権限（Administrators グループ）以外のユーザー権限（Power Users/Users など）で使用する場合、管理者権限でプリンタドライバをインストール後、すべてのタブを開いてください。この手順を行わないと、タブ内の設定項目が正しく表示されません。

各画面で共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

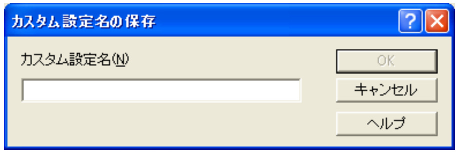
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. カスタム設定



現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名前を入力し、［OK］をクリックして現在の設定を保存します。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

ドロップダウンリストで「既定値（デフォルト）」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

6. ページレイアウト

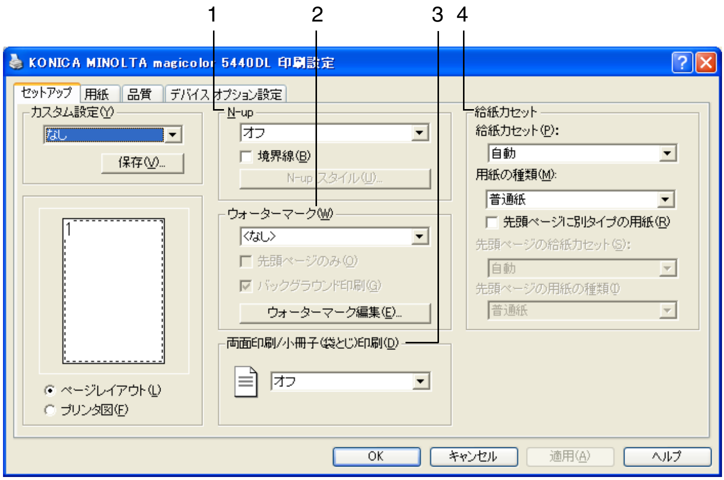
このボタンをクリックすると、ページレイアウトのサンプルが表示されます。

ページレイアウトには、「セットアップ」タブの「N-up」設定、「ウォーターマーク」設定（バックグラウンド印刷を除く）、「両面印刷 / 小冊子（袋とじ）印刷」設定、「用紙」タブの「印刷の向き」設定（180 度画像回転を除く）が反映されます。

7. プリンタ図

このボタンをクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示されるプリンタ図は、搭載されるオプションによって異なります。

「セットアップ」タブ



「セットアップ」タブの画面では、以下の操作が可能です。

1. N-up

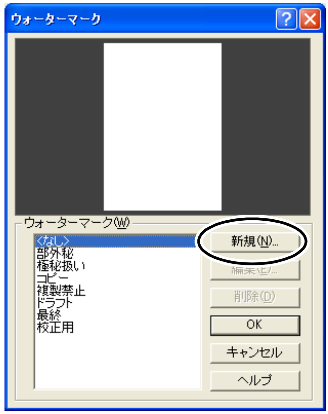
複数のページをまとめて 1 ページに印刷する機能です。（設定範囲：0（オフ）～ 16）
「境界線」チェックボックスをチェックすると、各ページの間に境界線を入れて印刷できます。
また、[N-up スタイル] をクリックすると、右の画面が表示されます。用紙内のページの並べ方を選択できます。



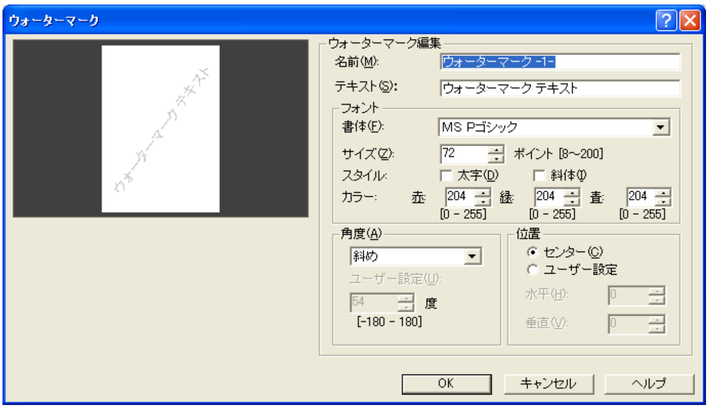
2. ウォーターマーク

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷する機能です。
「先頭ページのみ」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書の 1 枚目のみウォーターマークが印刷されます。
「バックグラウンド印刷」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書のバックにウォーターマークが印刷されます。

［ウォーターマーク編集］をクリックすると、ウォーターマーク画面が表示されます。登録してあるウォーターマークを選択できます。登録してあるウォーターマークを選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になり、ウォーターマークの編集、削除ができます。



また、［新規］をクリックすると、下の画面が表示されます。新たにウォーターマークを作成できます。



Windows 98SE 以外の Windows OS を管理者権限で使用している場合、新規作成したウォーターマークを保存する時に、「このウォーターマークを共通として保存しますか？」というメッセージが表示されます。
［はい］をクリックすると、全てのユーザーが使用できるウォーターマークとして保存されます。
［いいえ］をクリックすると、管理者権限でログインしている場合のみ使用できるウォーターマークとして保存されます。

3. 両面印刷／小冊子（袋とじ）印刷

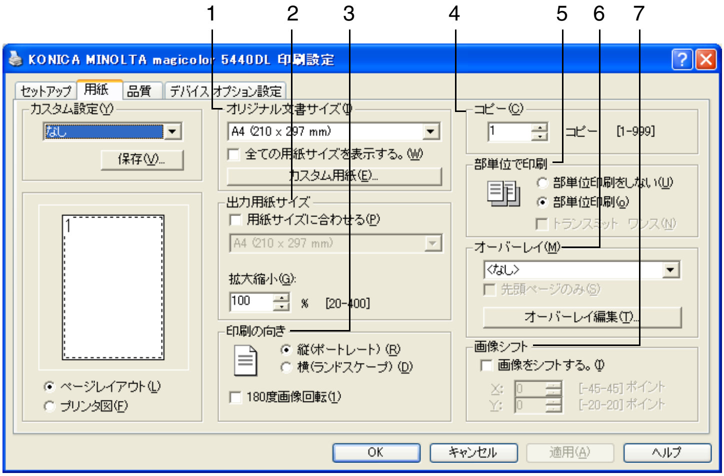
両面印刷の設定をする機能です。
ドロップダウンリストから両面印刷の種類を選択できます。両面印刷については、「両面印刷」（p.80）をごらんください。

両面プリントユニットを装着している場合のみ有効です。

4. 給紙カセット

使用するトレイ、および用紙種類の設定をします。それぞれのドロップダウンリストから選択して設定します。
1 ページ目のみ異なる給紙トレイ、用紙種類で印刷する場合は、「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスをチェックし、それぞれのドロップダウンリストから選択して設定します。

「用紙」タブ



「用紙」タブの画面では、以下の操作が可能です。

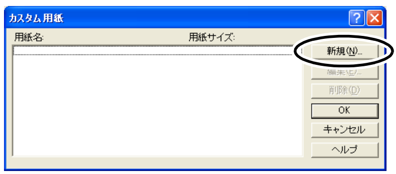
1. オリジナル文書サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

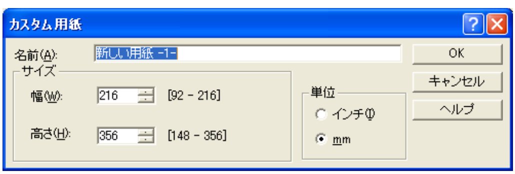
「全ての用紙サイズを表示する。」チェックボックスがチェックされていない場合は、ドロップダウンリストによく使用される一般的な用紙サイズが表示されます。

「全ての用紙サイズを表示する。」チェックボックスをチェックすると、ドロップダウンリストに本プリンタで設定できるすべての用紙サイズが表示されます。

［カスタム用紙］をクリックすると、カスタム用紙画面が表示されます。登録してあるカスタムサイズの用紙を選択できます。登録してあるカスタム用紙を選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になり、カスタム用紙の編集、削除ができます。



また、［新規］をクリックすると、下の画面が表示されます。新たにカスタムサイズの用紙を登録できます。

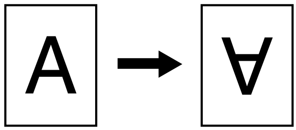


2. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
印刷する用紙のサイズにあわせる場合は、「用紙サイズに合わせる」チェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択して設定します。
表示される用紙サイズについては「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
「拡大縮小」は、印刷する文書の倍率を設定します。「用紙サイズに合わせる」チェックボックスがチェックされていない場合のみ設定できます。

3. 印刷の向き

印刷の向きを「縦（ポートレート）」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。
「180 度画像回転」チェックボックスにチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。



4. コピー

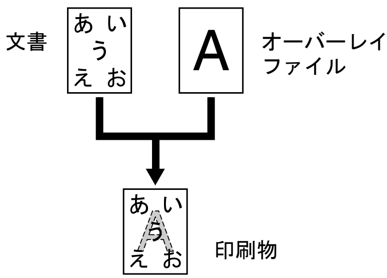
印刷部数を設定できます。

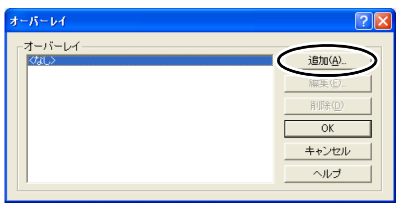
5. 部単位で印刷

複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを選択します。
「トランスミットワンス」チェックボックスをチェックすると、複数部印刷する場合に、一部のみ先に印刷されます。二部目以降のデータをプリンタ側で処理するため、短時間で印刷することができます。

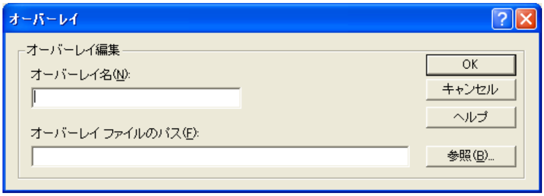
6. オーバーレイ

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷する機能です。
「先頭ページのみ」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書の 1 枚目のみオーバーレイが印刷されます。
［オーバーレイ編集］をクリックすると、オーバーレイ画面が表示されます。登録してあるオーバーレイを選択できます。
登録してあるオーバーレイを選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になり、オーバーレイの編集、削除ができます。





また、[追加]をクリックすると、下の画面が表示されます。オーバーレイファイルを追加できます。

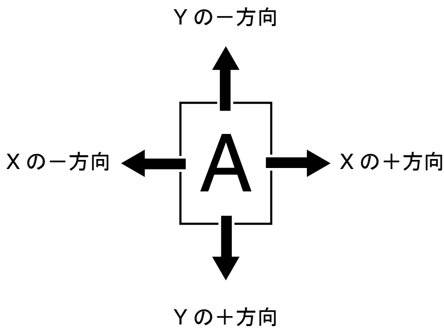


オーバーレイファイル(*.prn)は magicolor 5440 DL のプリンタドライバで書き出したものを使用してください。

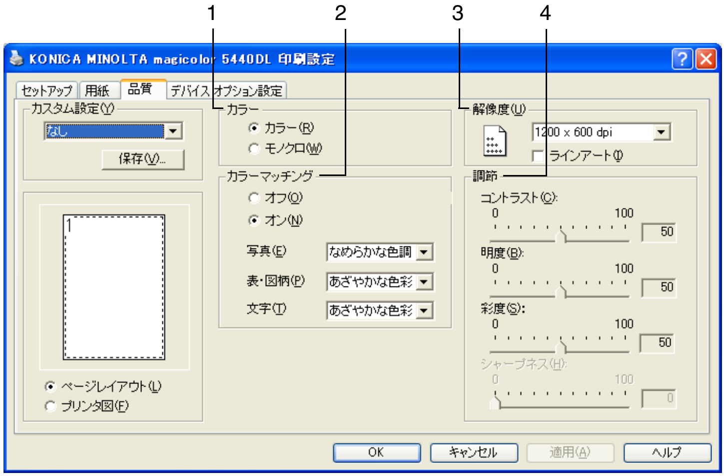
7. 画像シフト

用紙に印刷されるデータの位置を設定する機能です。
データの位置を調整する場合は、「画面をシフトする。」チェックボックスをチェックし、数値を入力(選択)して印刷されるデータの位置を調整します。
画像が移動する方向は右図を参照してください。

1 ポイントは約 0.35 mm です。



「品質」タブ



「品質」タブの画面では、以下の操作が可能です。

1. カラー

カラー印刷とモノクロ印刷の切り替えをします。

2. カラーマッチング

モニター上の色合いを忠実に表現するために、プリンタの色合いを調整するカラーマッチング機能を使用するかどうかを指定します。
「オン」に設定しているときに、写真（イメージ）、表・図柄（グラフィックス）、文字（テキスト）に対して、それぞれ、「なめらかな色調」、「測色的に一致」、「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択できます。

「なめらかな色調」は、写真画像に適した設定です。この設定では濃淡変化になるべく段差を生じない、滑らかな画像表現を行います。
「測色的に一致」は、オリジナル画像の色合いに近い色合いを再現するのに適した設定です。ただしモニター上での色が鮮やかでプリンタでは表現できないような色の場合、その色に最も近いプリンタで再現できる色に全て置き換えられますので、その部分の色の違いは表現できません。
「あざやかな色彩」は、ビジネスプレゼンテーション等の用途に適した設定です。この設定では、なるべく鮮やかな色合いになるように画像が表現されます。

「オフ」に設定している場合は、カラーマッチングを使用しません。

DTP アプリケーション等ではアプリケーション側でプリンタに最適なデータとなるようにカラーマッチングを行い、プリンタにデータを送れるものがあります。アプリケーション側でこのような出力設定がされている場合は、プリンタのカラーマッチングを「オフ」に設定してください。

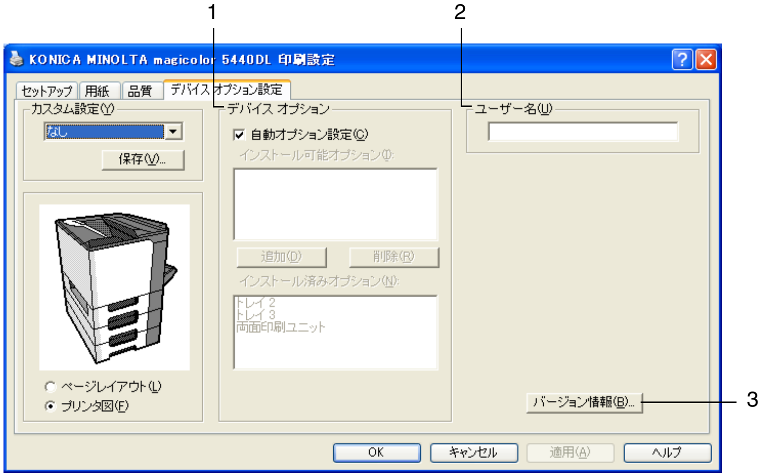
3. 解像度

印刷時の解像度を設定します。
「ラインアート」チェックボックスをチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができます。ただしラインアートを使用している場合、再現できる階調数が少なくなります。

4. 調節

印刷する画像のトーン（コントラスト)、明るさ（明度）、色合い（彩度）、鮮明度（シャープネス）を設定します。
「シャープネス」はカラーマッチングをオフにした時のみ調整できます。スライダーバーを左右に移動することによって設定値の変更が可能です。

「デバイス オプション設定」タブ



「デバイス オプション設定」タブの画面では、以下の操作が可能です。

1. デバイスオプション

オプションの装着に関する設定をします。
オプションの設定については、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.8）をごらんください。

2. ユーザー名

プリントジョブに付加するユーザー名を設定します。

3. バージョン情報

プリンタドライバに関する情報を確認できます。
ボタンをクリックすると、右の画面が表示されます。



3

ステータスディスプレイとプリンタステータスモニタセンター（Windows）の使いかた

ステータスディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイで、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

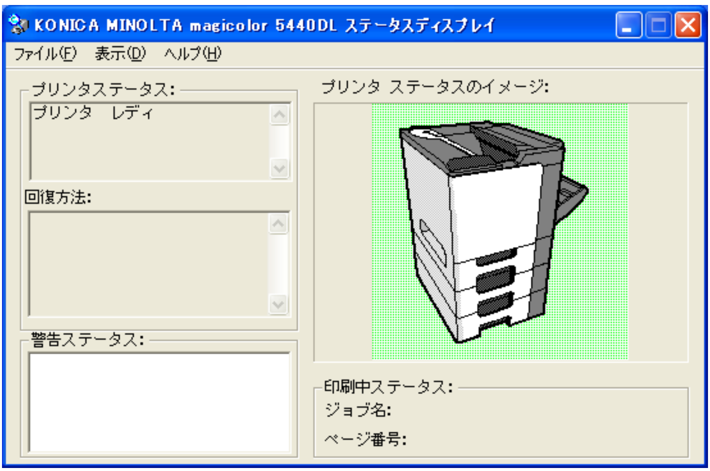
ステータスディスプレイは、管理者権限を持つユーザーのみが使用できます。

ステータスディスプレイを開く

以下の操作でステータスディスプレイを開きます。

- **Windows XP/Server 2003 の場合**：[スタート] メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 5440 DL」を選択し、「ステータス」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0 の場合**：[スタート] メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 5440 DL」を選択し、「ステータス」をクリックします。

ステータスディスプレイの使いかた



- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が緑色のときは、プリンタが待機状態であるか、問題なく印刷処理が行われている状態です。
- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。このとき、プリンタの状態とエラーメッセージが画面左側に表示されます。

ステータスディスプレイの機能は以下のとおりです。

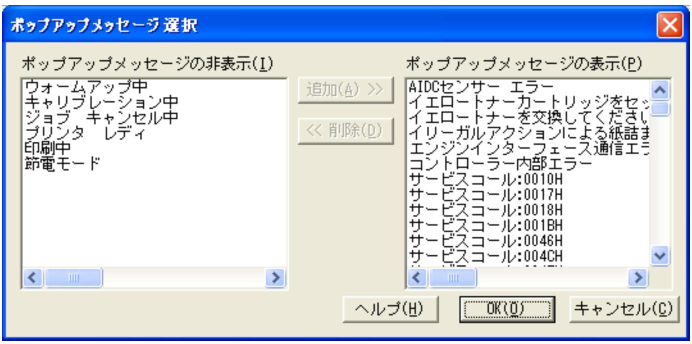
- **プリンタステータス**：プリンタの現在の状態を示すメッセージが表示されます。
- **回復方法**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。
- **警告ステータス**：注意が必要な状態（例：トナーの交換時期が近い）を知らせるメッセージが表示されます。
- **プリンタステータスのイメージ**：プリンタの状態を示す図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。
- **印刷中ステータス**：処理中のプリントジョブの状態が表示されます。

ファイルメニュー

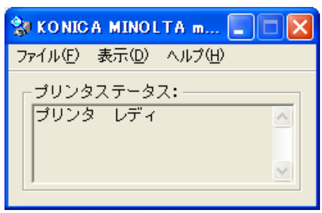
- **終了**：ステータスディスプレイを終了します。

表示メニュー

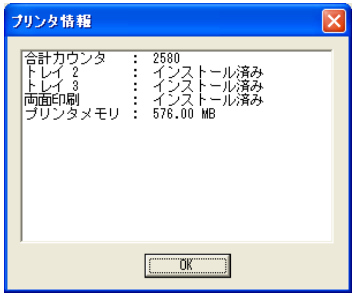
- **ポップアップメッセージの選択**：プリンタの状態の中で、どの状態をポップアップ表示させるかを指定することができます。



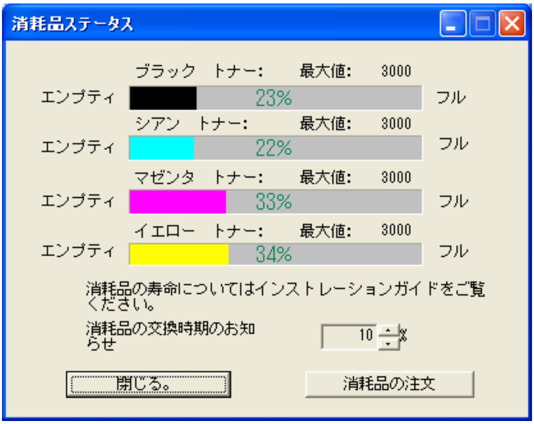
- **縮小／拡大**：「縮小」を選択すると、画面サイズが小さくなり、プリンタステータスのみ表示されます。「拡大」を選択すると画面サイズが大きくなり、プリンタステータス以外の情報も表示されます。



■ **プリンタ情報**：プリント枚数などの情報を確認できます。



■ **消耗品状況**：各トナーカートリッジの残容量（約何%残っているか）が表示されます。



ステータスディスプレイの警告の確認

ステータスディスプレイがプリンタの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、赤色に変わります。

ステータスディスプレイの警告の解除

ステータスディスプレイがプリンタに問題の発生を表示しているときに、Windows のタスクバーにあるステータスディスプレイのアイコンをダブルクリックしてステータスディスプレイを開きます。ステータスディスプレイには、発生したエラーの内容が表示されます。

ステータスディスプレイを閉じる

ステータスディスプレイを終了するときは、「ファイル」メニューから「終了」を選択してください。

ステータスディスプレイの画面右上の［×］ボタンをクリックすると、画面は閉じますが、タスクバーの右端に最小化されアイコンとして残ります（終了しません）。アイコンをダブルクリックすると、ステータスディスプレイが再度表示されます。

プリンタステータスモニタセンターの使いかた

プリンタステータスモニタセンターはローカルポート（USB）、またはネットワークポートを通してホストに接続されているプリンタの状態を確認できます。プリンタステータスモニタセンターは、SLP（Service Location Protocol）を利用してネットワーク上のプリンタを認識します。magicolor 2300 DL や magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL のように SLP と、コニカミノルタ固有の PJL に対応しているプリンタのみ対応します。

コニカミノルタ製品の複合機などがプリンタステータスモニタセンターに表示されることがありますが、正しく表示されない場合があります。プリンタステータスモニタセンターは magicolor 2300 DL、magicolor 2430 DL、magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL の 4 機種にのみ対応しています。

必要なシステム

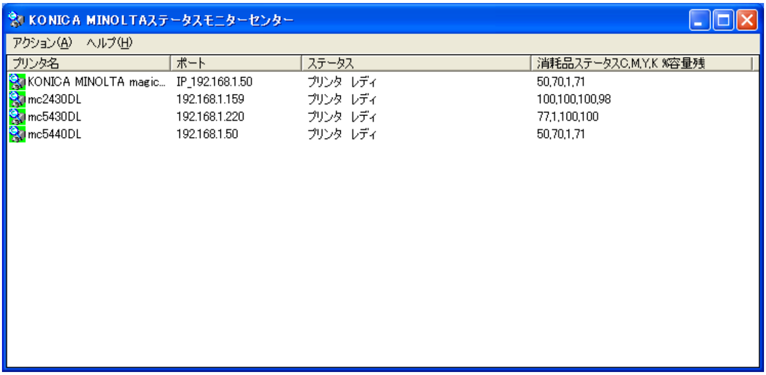
- オペレーティングシステム
  Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT 4.0
- プリンタステータスモニタセンターでサポートしているプリンタポート
  - イーサネットポート
  - USB ポート

プリンタステータスモニタセンターを開く／消耗品の状態を確認する

以下の操作でプリンタステータスモニタセンターを開きます。

- **Windows XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 5440DL」を選択し、「プリンタステータスモニタセンター」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 5440DL」を選択し、「プリンタステータスモニタセンター」をクリックします。

プリンタステータスモニタセンターの使いかた



- **プリンタ名**：ローカルプリンタ、および同一ネットワーク上のプリンタのモデル名が表示され、プリンタのアイコンが表示されます。プリンタアイコンはプリンタの状態、接続状況により色が変わります。赤色の場合はエラー、黄色の場合は警告を意味します。緑色の場合は通常の状態です。
  プリンタ名をダブルクリックすると、ステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection が表示されます。

本プリンタをローカル接続している場合は、プリンタ名をダブルクリックすると、ステータスディスプレイが表示されます。
本プリンタをネットワーク接続している場合は、ステータスディスプレイと PageScope Web Connection のどちらを表示するかを「アクション」メニューのオプション画面で選択できます。
本プリンタ以外の magicolor 製品は、ネットワーク接続している場合、PageScope Web Connection が表示されます。

選択したプリンタがステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection に対応していない場合は、プリンタ名をダブルクリックしても表示されません。

ローカル接続で USB に接続されていなかったり、ステータスに「接続できません。」と表示されるときは、プリンタ名をダブルクリックしてもステータスディスプレイや PageScope Web Connection は、表示されません。

プリンタの名前が検出できない場合、プリンタ名は「不明」と表示されます。

- **ポート**：プリンタが接続されているポート名が表示されます。
  ローカルプリンタの場合は、USB の種類が表示されます。
  ネットワークプリンタの場合は、IP アドレスが表示されます。

同一プリンタに複数のポート名称が作成されているとき、一台のプリンタに対して、プリンタステータスモニタセンターに複数の表示がされる場合があります。表示されている複数のポートはいずれの状態も同じ結果が得られますので、複数表示のまま使用しても問題はありません。
プリンタステータスモニタセンターでの表示を一つにする場合は、IP アドレスのみで作成したポート名称のポートのみを使用してください。

- **ステータス**：プリンタの状態を示します。ステータスディスプレイの「プリンタステータス」と同じ内容が表示されます。

プリンタの電源が入っていない場合、プリンタステータスモニタセンターのステータスには「接続できません。」と表示されます。

- **消耗品ステータス C、M、Y、K %容量残**：トナーカートリッジのおおよその残量がパーセンテージ表示されます。数値は左から、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の順に表示されます。

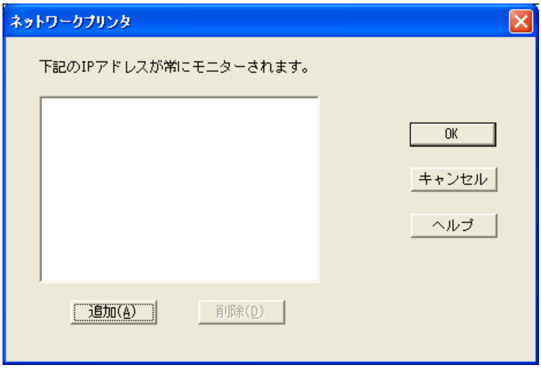
各列のヘッダー部分をクリックすると、降順または昇順に並びかわります。

アクションメニュー

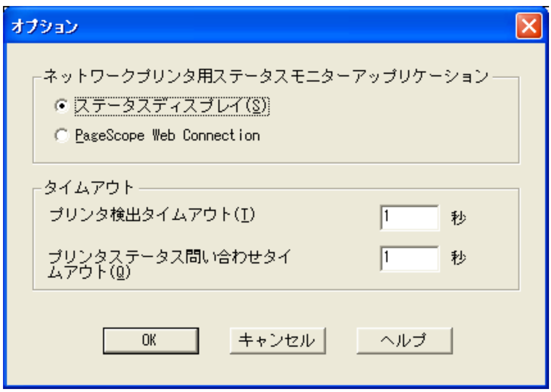
- **プリンタのアップデート**：ネットワーク内のプリンタを再検索します。
- **ネットワークプリンタ**：ネットワーク上で検出できなかったプリンタの IP アドレスの追加や、検出する必要のないプリンタの IP アドレスの削除ができます。

本メニューで magicolor 2300 DL、magicolor 2430 DL、magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL 以外のプリンタの IP アドレスを登録した場合、そのアドレスのプリンタ機種を判断する間、プリンタステータスモニタセンターには「不明」と表示されます。「アクション」メニューの「プリンタのアップデート」を実行すると、プリンタステータスモニタセンターの表示から削除されます。

本メニューで登録したプリンタのプリンタ名は、あらかじめプリンタに登録されているプリンタ名が表示されます。



- **オプション**：プリンタ名をダブルクリックしたときに表示されるアプリケーションとタイムアウトの時間を設定します。



ネットワークプリンタ用ステータスモニターアップリケーション	画面に表示されるプリンタ名をダブルクリックしたときに、ステータスディスプレイを表示させるか、PageScope Web Connection を表示させるかを設定します。初期設定はステータスディスプレイです。この設定は、ネットワーク接続している本プリンタのみ有効です。
タイムアウト	2 種類のタイムアウトの時間を設定できます。 ■ プリンタ検出タイムアウト ■ プリンタステータス問い合わせタイムアウト

プリンタステータスモニタセンターのバージョン情報は、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」で確認できます。プリンタステータスモニタセンターのバージョン情報は、プリンタドライバのバージョン情報と同じです。

プリンタステータスモニタセンターの警告の確認

赤いアイコン、または黄色いアイコンが表示されるときは、ステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection を開いて、詳細情報を確認してください。ステータスディスプレイについて詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.26）をごらんください。また、PageScope Web Connection について詳しくは、「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリンタステータスモニタセンターを閉じる

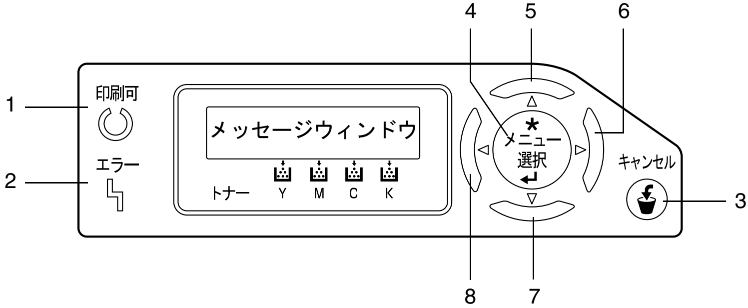
プリンタステータスモニタセンターを閉じるときは、「アクション」メニューから「終了」を選択するか、プリンタステータスモニタセンター画面の右上にある［×］ボタンをクリックしてください。

操作パネルとメニュー

4

操作パネルについて

プリンタ上部にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウにはプリンタの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



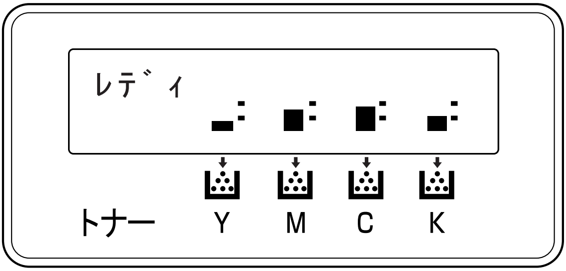
操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	印刷可	印刷可能（データ受信可能）な状態になっていません。	印刷可能（データ受信可能）な状態です。
2	エラー	問題なし。	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
3	キャンセル	■ 表示中のメニューや、設定変更を取り消します。 ■ 印刷中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルできます。 1.［キャンセル］キーを押します。 2. ◁ または ▷ キーを押して「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｹﾞﾝｻﾞｲﾉｼﾞｮﾌﾞ」または「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｽﾍﾞﾃﾉｼﾞｮﾌﾞ」を選択します。 3.［メニュー選択］キーを押します。 プリントジョブがキャンセルされます。
4	＊ メニュー選択 ↵	■ 設定メニューが表示されます。 ■ サブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 表示されている項目が選択されます。
5	△	■ 現在表示されているメニューの上のメニューレベルに戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。
6	▷	■ 表示されているメニュー／設定項目の右のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム右へ移動します。
7	▽	■ 表示中のメニューが選択され、サブメニューまたは設定項目が表示されます。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。
8	◁	■ 表示されているメニュー／設定項目の左のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム左へ移動します。

トナー残量の表示について

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各トナーカートリッジのトナー残量はメッセージウィンドウに以下のように表示されます。



操作パネルのメニュー一覧

本プリンタの操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

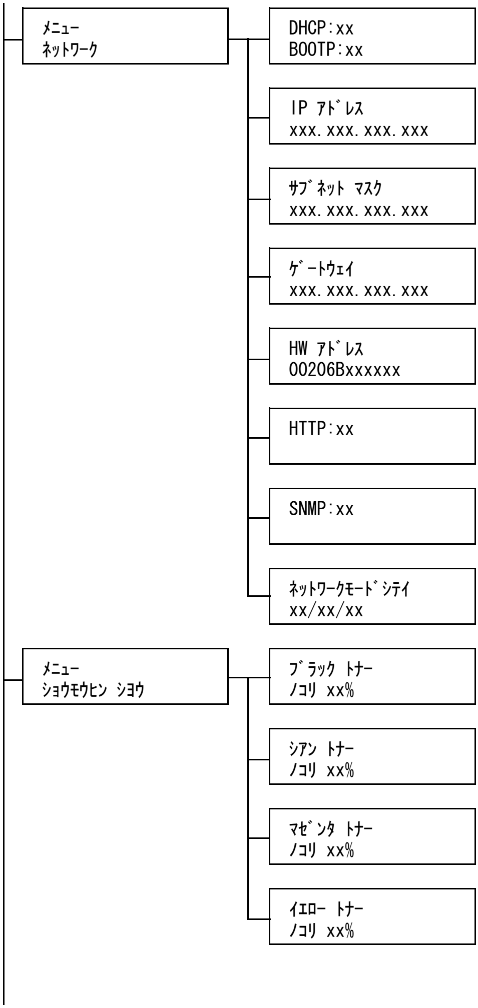
 太字は工場出荷時の設定値を表します。

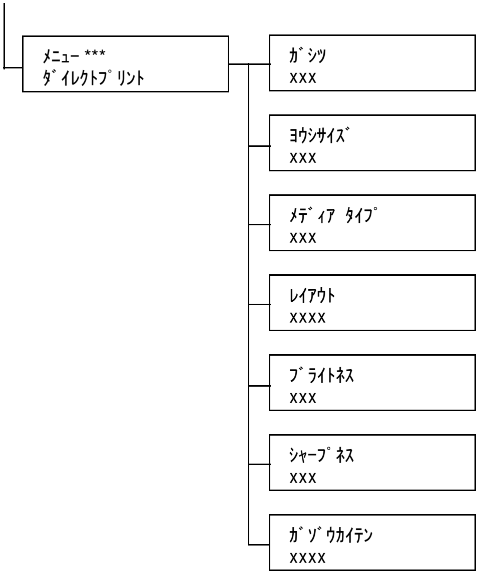
メニューの構成

- ﾚﾃﾞｨ
  - ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ
    - ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ
    - ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ
    - ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ
  - ﾒﾆｭｰ ｹﾞﾝｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ｴｲｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾌﾗﾝｽｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾄﾞｲﾂｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ｲﾀﾘｱｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ｽﾍﾟｲﾝｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾁｪｺｺﾞ
    - ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾆﾎﾝｺﾞ
  - ﾒﾆｭｰ ｴﾝｼﾞﾝ
    - ｴﾝｼﾞﾝ ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ
    - ｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ * XXXXXXXX
    - ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ XXX
    - ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ ** XXX
    - ｴﾝｼﾞﾝ ｻｰﾋﾞｽ
      - ﾍﾟｰｼﾞ ﾏｲｽｳ XXXXXX
      - ｶﾗｰﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ XXXXXX
      - ﾓﾉｸﾛﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ XXXXXX
      - ｺﾝﾄﾛｰﾗ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ XX.XXX
      - ｴﾝｼﾞﾝ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ XXXXXXXXXXXXXX
      - ｶﾗｰ ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
      - ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰ
      - ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾍﾞﾙﾄ
      - ｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ XXX
      - ﾌｯｷｭｳ ﾕｰｻﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ

* ｴﾝｼﾞﾝ/ｻｰﾋﾞｽ/ｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ メニューでｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞがｵﾝに設定されている場合のみ表示されます。

** トレイ 2、トレイ 3 を装着している場合のみ表示されます。


ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ
DHCP:xx
BOOTP:xx
IP ｱﾄﾞﾚｽ
xxx.xxx.xxx.xxx
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
xxx.xxx.xxx.xxx
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
xxx.xxx.xxx.xxx
HW ｱﾄﾞﾚｽ
00206Bxxxxxx
HTTP:xx
SNMP:xx
ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞｼﾃｲ
xx/xx/xx
ﾒﾆｭｰ
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼﾖｳ
ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾅｰ
ﾉｺﾘ xx%
ｼｱﾝ ﾄﾅｰ
ﾉｺﾘ xx%
ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰ
ﾉｺﾘ xx%
ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ
ﾉｺﾘ xx%



***カメラダイレクトプリントカードを装着している場合のみ表示されます。

スペシャルページメニュー

ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ	プリンタの設定内容（コンフィグレーションページ）を印刷します。
ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ	テストページを印刷します。
ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ	メニューマップを印刷します。（英語版のメニューのみ）

ゲンゴメニュー

ｴｲｺﾞ／ﾌﾗﾝｽｺﾞ／ﾄﾞｲﾂｺﾞ／ｲﾀﾘｱｺﾞ／ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙｺﾞ／ｽﾍﾟｲﾝｺﾞ／ﾁｪｺｺﾞ／ﾆﾎﾝｺﾞ	メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。初期設定は「ﾆﾎﾝｺﾞ」です。 *どの値を設定しても、メッセージウィンドウには常に「ｴｲｺﾞ」と表示されます。*

エンジンメニュー

<table>
<tr><td rowspan="4">ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ</td><td>設定</td><td>ｽﾄｯﾌﾟ / ｺﾝﾃｨﾆｭｰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｺﾝﾃｨﾆｭｰ」に設定すると、トナーがなくなっても印刷を続行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｽﾄｯﾌﾟ」に設定すると、トナーがなくなった時に印刷を停止します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">どの値を設定しても、メッセージウィンドウには常に「ｽﾄｯﾌﾟ」と表示されます。このメニューの設定は、トウケイデータページ（ｽﾍﾟｼｬﾙﾍﾟｰｼﾞ／ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀﾍﾟｰｼﾞ）を印刷して確認できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>15 ﾌﾝ /30 ﾌﾟﾝ /1 ｼﾞｶﾝ /2 ｼﾞｶﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタがプリントジョブを受信しなくなってから、あるいは操作をしなくなってから節電モードに入るまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">節電モードは以下の場合、自動的に解除されます。
■ プリンタ本体の再起動が行われた場合
■ ジョブを受信した場合
■ 操作パネルのキーを押した場合
■ 前ドア、右ドアなどを開け閉めした場合
■ 給紙トレイを開け閉めした場合</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾝ」に設定すると、印刷データの用紙サイズと指定した給紙トレイの用紙サイズが異なる場合でも、印刷を続行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止し、用紙の補給が必要であることを示すメッセージが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾝ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止し、用紙の補給が必要であることを示すメッセージが表示されます。</td></tr>
</table>

ｴﾝｼﾞﾝ / ｻｰﾋﾞｽ	エンジンに関する情報を確認できます。		
	ﾍﾟｰｼﾞﾏｲｽｳ	本プリンタでこれまで印刷したページ数を表示します。	
	ｶﾗｰﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ	本プリンタでこれまで印刷したカラーページ数を表示します。	
	ﾓﾉｸﾛﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ	本プリンタでこれまで印刷したモノクロページ数を表示します。	
	ｺﾝﾄﾛｰﾗ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	コントローラのファームウェアのバージョンを表示します。	
	ｴﾝｼﾞﾝ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	プリンタエンジンのファームウェアのバージョンを表示します。	
	ｶﾗｰ ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ	カラー調整のためカラーキャリブレーション処理を実行します。	
	ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰ	転写ローラー交換時に、カウンタをリセットできます。	
	ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾍﾞﾙﾄ	転写ベルト交換時に、カウンタをリセットできます。	
	ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
		「ｵﾝ」に設定すると、節電モードが有効になります。 「ｵﾌ」に設定すると、節電モードが無効になります。またサブメニューの「ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ」が表示されなくなります。	
	ﾌｯｷｭｳ ﾕｰｻﾞﾃﾞﾌｫﾙﾄ	ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ、ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ、ﾖｳｼﾄﾚｲﾉﾚﾝｹﾂの設定を工場出荷時の状態に戻します。PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）も工場出荷時の番号に戻ります。 PageScope Weg Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。	

ネットワークメニュー

本プリンタをネットワークに接続している場合、以下の項目を設定します。各設定の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

DHCP	設定	**DHCP ｾｯﾄ：ｵﾝ** **BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ**
		DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾝ
		DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ
	ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP」と「BOOTP」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。	
BOOTP	BOOTP で自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP」と「BOOTP」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。	
IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	192.168.1.2
	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 上下左右キーを使って値を入力します。 手動で IP アドレスを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	設定	255.255.255.0
	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。上下左右キーを使って値を入力します。 手動でサブネットマスクを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	
ｹﾞｰﾄｳｪｲ	設定	192.168.1.1
	ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。上下左右キーを使って値を入力します。 手動でゲートウェイを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	
HW ｱﾄﾞﾚｽ	本プリンタのイーサネット（Ethernet）ハードウェアアドレスを見ることができます。（変更はできません。）	

HTTP	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	HTTP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。HTTP を「ｵﾝ」にすると、プリンタに内蔵の HTTP サーバが提供する Web ページが有効になります。「ｵﾌ」にすると無効になります。 本設定の変更を有効にするためには、プリンタを再起動してください。	
SNMP	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	SNMP はネットワーク管理の標準プロトコルです。SNMP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。 本設定の変更を有効にするためには、プリンタを再起動してください。	
ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞ ｼﾃｲ	設定	**ｵｰﾄ/ｵｰﾄ/ｵﾝ** / ｵｰﾄ/ﾌﾙ/ｵﾝ / ｵｰﾄ/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 100M/ｵｰﾄ/ｵﾝ / 100M/ﾌﾙ/ｵﾝ / 100M/ﾌﾙ/ｵﾌ / 100M/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 100M/ﾊｰﾌ/ｵﾌ / 10M/ｵｰﾄ/ｵﾝ / 10M/ﾌﾙ/ｵﾝ / 10M/ﾌﾙ/ｵﾌ / 10M/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 10M/ ﾊｰﾌ / ｵﾌ
	ごく一部のハブにおいて、ネットワーク速度や構成を固定する設定で使用した場合、プリンタがハブと通信できない事があります。この場合ハブの設定に合わせ、ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞ ｼﾃｲメニューを適切な設定に変更することで通信ができるようになります。 ■ 1 つ目の項目（ｿｸﾄﾞ）はネットワークの通信速度の設定を表します。 10Base-T の接続（10M）、100Base-TX の接続（100M）、自動認識（ｵｰﾄ）から選択します。ｵｰﾄに設定した場合、通信速度はネゴシエーションによって決定するため、ネゴシエーションがｵﾌの組み合わせは存在しません。 ■ 2 つ目の項目（DUPLEX）は双方向通信での通信方式の設定を表します。 同時に双方向のデータをやり取りする（ﾌﾙ）、片方向ずつデータをやり取りする（ﾊｰﾌ）、自動認識（ｵｰﾄ）から選択します。ｵｰﾄに設定した場合、通信方式はネゴシエーションによって決定するため、ネゴシエーションがｵﾌの組み合わせは存在しません。 ■ 3 つ目の項目（ﾈｺﾞ）はネゴシエーション（通信速度などの情報を相互にやりとし通信設定を決定する）の設定を表します。 ｵﾝに設定した場合はネゴシエーションを実施し、ｵﾌに設定した場合はネゴシエーションを実施しません。	

ショウモウヒン シヨウメニュー

ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（ブラック）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ｼｱﾝﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（シアン）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（イエロー）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（マゼンタ）のおおよそのトナー残量が表示されます。

ダイレクトプリントメニュー

以下のメニューはデジタルカメラでの設定がされていない場合に有効です。

ダイレクトプリントの詳しい説明については「ダイレクトプリント」（p.49）をごらんください。

本プリンタでダイレクトプリントを行なう場合、オプションのカメラダイレクトプリントカードが必要です。カメラダイレクトプリントカードの取り付け方法については、カメラダイレクトプリントカードに同梱されるインストレーションガイドをごらんください。カメラダイレクトプリントカードの販売については、販売店や printer.konicaminolta.jp でご確認ください。

ｶﾞｼﾂ	設定	ﾄﾞﾗﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾌｧｲﾝ
	プリント画像の解像度を設定します。 「ﾄﾞﾗﾌﾄ」（600 × 600 dpi）と「ﾉｰﾏﾙ」（1200 × 600 dpi）、「ﾌｧｲﾝ」（2400 × 600 dpi）の 3 つの設定があります。 「ﾌｧｲﾝ」は、オプションのメモリを装着している場合のみ表示されます。	

ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ/A4/A5/STATEMENT/ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ/ﾚﾀｰ 2UP 4×6ｲﾝﾁ/A4 4UP L ｻｲｽﾞ
	用紙サイズを設定します。 「ﾚﾀｰ 2UP 4×6 ｲﾝﾁ」または、「A4 4UP L ｻｲｽﾞ」に設定した場合は、「用紙サイズ」は「光沢紙」に自動的に変更されます。また、自動的に 2-UP または 4-UP で印刷されます。 ただし、操作パネルの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ」/「ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ」、「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ」/「ﾚｲｱｳﾄ」にこの設定は反映されません。 「A4 4UP L ｻｲｽﾞ」を選択した場合、A4 用紙に 4 枚の画像が印字されますが、サイズは L サイズよりやや大きめのサイズで印字されます。L サイズにカットしてご利用いただくことが可能です。	
ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ	設定	ﾌﾂｳｼ / ｱﾂｶﾞﾐ 1/ ｱﾂｶﾞﾐ 2/ ｺｳﾀｸｼ / ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ / ﾗﾍﾞﾙ
	用紙種類を設定します。	
ﾚｲｱｳﾄ	設定	1-UP/2-UP/3-UP/4-UP/6-UP/8-UP
	一枚の用紙に印刷する画像の数を選択できます。 「1-UP」に設定した場合は、一枚の用紙に 1 つの画像が印刷されます。	
ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	設定	ｵﾌ / ｵﾝ
	色の濃度を変更できます。 「ｵﾝ」に設定すると、画像がより明るく印刷されます。	
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ	設定	ｵﾌ / ｵﾝ
	中間色の鮮やかさを変更できます。 「ｵﾝ」に設定すると、画像の中間色がより鮮やかに印刷されます。	
ｶﾞｿﾞｳｶｲﾃﾝ	設定	ｵﾌ / ｵﾝ
	画像を回転し用紙のサイズに合わせてプリントできます。 「ｵﾝ」に設定すると、画像が時計回りに 90 度回転して印刷されます。 本設定は、「ﾚｲｱｳﾄ」が「1-UP」または「4-UP」に設定されている時のみ有効です。	

ダイレクトプリント

5

画像を直接印刷する

PictBridge（1.0 以降）対応のデジタルカメラとプリンタを USB で接続し、デジタルカメラに納められた画像を直接印刷することができます。

本プリンタでダイレクトプリントを行なう場合、オプションのカメラダイレクトプリントカードが必要です。カメラダイレクトプリントカードの取り付け方法については、カメラダイレクトプリントカードに同梱されるインストレーションガイドをごらんください。
カメラダイレクトプリントカードの販売については、販売店や printer.konicaminolta.jp でご確認ください。

オプションのメモリを装着していない場合は、デジタルカメラ側で、画質とインデックス印刷を選択することは出来ません。
デジタルカメラの操作方法については、デジタルカメラの取扱説明書をごらんください。

デジタルカメラからはがきに直接印刷する場合、用紙の端から 17 mm をのぞく領域が、印刷可能領域になります。

本プリンタでは、下記の機能をサポートしません。
トリミング印刷
サイズ固定印刷
フチなし印刷
DPOF 印刷

デジタルカメラから直接印刷する

1 必要に応じてプリンタの操作パネルで、「ｶﾞｼﾂ」、「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」、「ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ」、「ﾚｲｱｳﾄ」、「ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ」、「ｼｬｰﾌﾟﾈｽ」、「ｶﾞｿﾞｳｶｲﾃﾝ」を設定します。

画像を印刷する用紙の種類は、プリンタのﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄメニューの「ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ」でのみ設定できます。
デジタルカメラ側で用紙種類を選択することはできません。

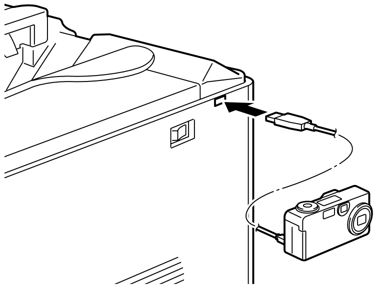
プリンタの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄﾒﾆｭｰ」の「ﾖｳｼｻｲｽﾞ」の設定と、デジタルカメラ側の設定で、用紙サイズの設定を合わせてください。

デジタルカメラ側でこれらの設定（用紙種類および用紙サイズの設定は除く）が出来る場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。デジタルカメラでの設定が操作パネルの設定より優先されます。
操作パネルでの詳しい設定については、「ダイレクトプリントメニュー」（p.46）をごらんください。

2 デジタルカメラと、ダイレクトプリントポートを USB ケーブルで接続します。



USB ケーブルは本プリンタには同梱されていません。お使いのデジタルカメラに USB ケーブルが同梱されていない場合は、別途お買い求めください。



3 デジタルカメラから、印刷したい画像と枚数の設定をします。

4 デジタルカメラで印刷を開始します。

用紙の取り扱い

6

使用できる出力用紙サイズ

本プリンタでは以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2/3/ 手差し	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	手差し	×
B5（JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	2/3/ 手差し	○
エグゼクティブ *	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	2/3/ 手差し	○
フォリオ *	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0	2/3/ 手差し	○
フールスキャップ *	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	2/3/ 手差し	○
開 16*	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	手差し	○
開 32*	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	手差し	×
16 K*	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	手差し	○
リーガル *	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	2/3/ 手差し	○
ガバメントリーガル *	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0	2/3/ 手差し	○
レター *	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2/3/ 手差し	○
レタープラス *	215.9 × 322.3	8.5 × 12.7	2/3/ 手差し	○
ガバメントレター *	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1/2/3/ 手差し	○
ステートメント *	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5	手差し	×
UK クァトロ *	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	手差し	×
官製はがき	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	手差し	×
往復はがき	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	手差し	×
封筒 B5（ISO）*	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	手差し	×
封筒 C5*	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0	手差し	×
封筒 洋形 2 号	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4	手差し	×
封筒 Com10 *	104.7 × 241.3	4.125 × 9.5	手差し	×
封筒 DL*	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7	手差し	×
封筒 洋形 6 号 *	98.4 × 190.5	3.875 × 7.5	手差し	×
封筒 洋形 0 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	手差し	×
封筒 長形 4 号	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	手差し	×
封筒 洋形 4 号	105.0 × 235.0	4.1 × 9.3	手差し	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
厚紙、OHP フィルム、光沢紙	A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズ			×
フリーサイズ（最小値）	92.0 × 148.0	3.6 × 5.9	手差し	×
フリーサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	手差し	○
備考：* このマークの用紙サイズはドライバの「用紙」タブにある「全ての用紙サイズを表示する。」チェックボックスにチェックを入れた場合に表示されます。				

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本プリンタで利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1/2/3**（多目的トレイ）	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
	手差しトレイ	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	**トレイ 1/2/3**	印刷面が上向き
	手差しトレイ	印刷面が下向き
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙（リサイクル）	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  ・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙 1（91 ～ 150 g/m^2） 厚紙 2（151 ～ 210 g/m^2）	
坪量	91 ～ 210 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

- 手差しトレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

  印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

- レーザープリンタ対応の封筒
- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
- テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
- 窓付きの封筒
- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

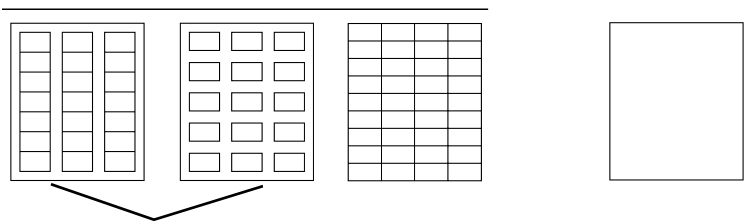
■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

使用禁止　使用可



型抜きされて台紙面が露出しているラベル紙

断裁されていないページ全体のラベル紙

レターヘッド

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	20 枚（用紙の厚さによって変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。	

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	官製ハガキ	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ 官製はがき（100 × 148 mm）
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

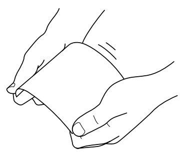
■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンタ用はがき

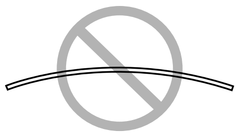
■ 切り込みやミシン目のあるはがき

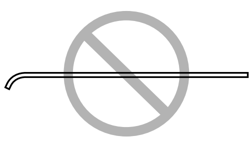
■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、手差しトレイにセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.107）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1/2/3**	対応していません。
	手差しトレイ	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません	

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1/2/3</td><td>対応していません。</td></tr>
<tr><td>手差しトレイ</td><td>20 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>用紙のセット方向</td><td colspan="2">印刷面が下向き</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">光沢紙</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">対応していません。</td></tr>
</table>

以下のようなな使いかたはしないでください。

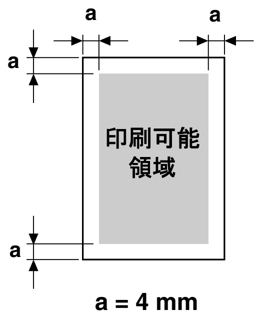
■ 手差しトレイの中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

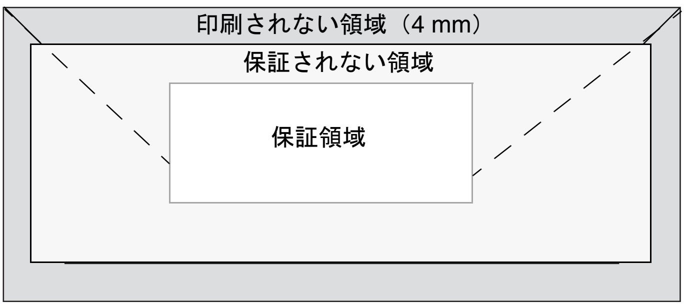
アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。



封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

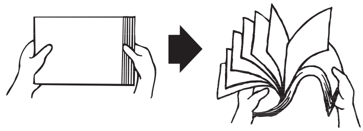

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 100 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。



 OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

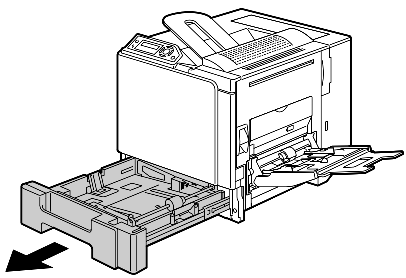
用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

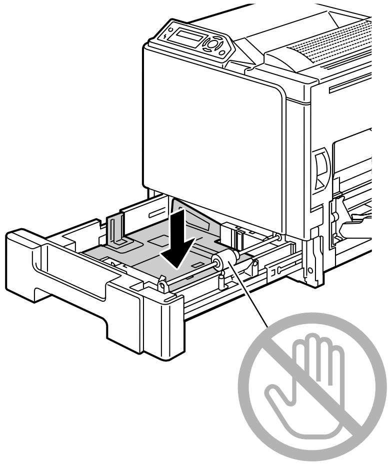
トレイ 1

普通紙の場合

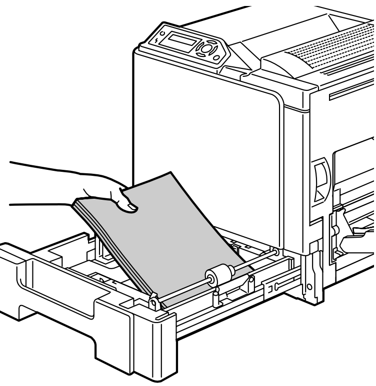
1 トレイ 1 を引き出します。



2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

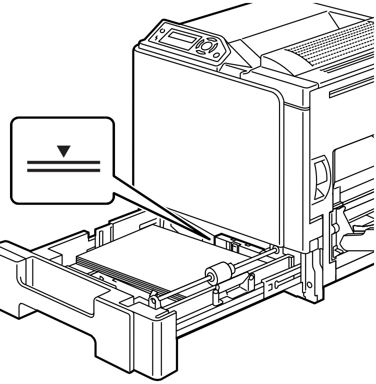


3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

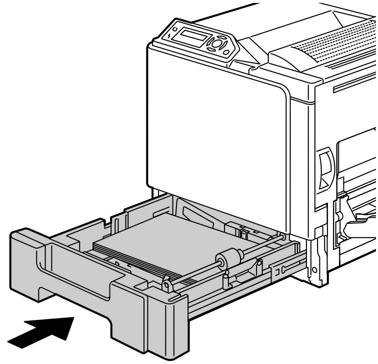




用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は 1 度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。



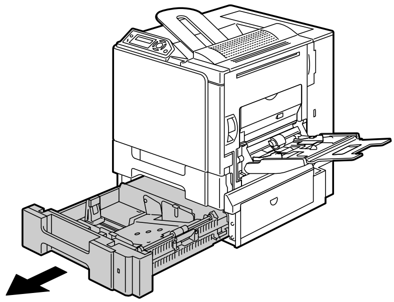
4 トレイ 1 を閉じます。



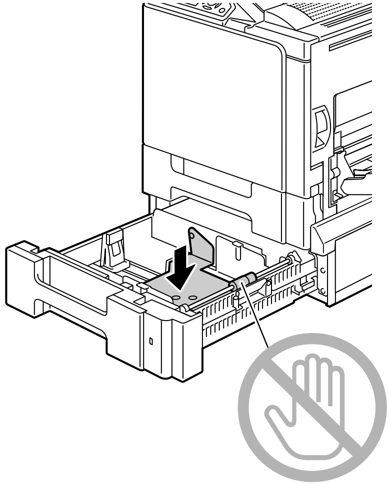
トレイ 2/3（オプションの給紙ユニット）

普通紙の場合

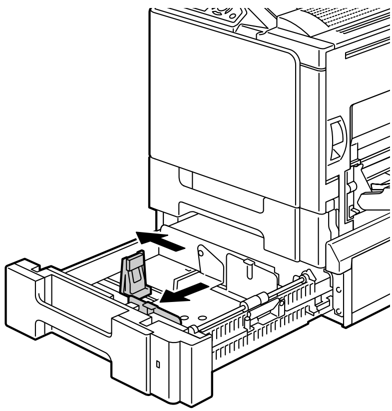
1 トレイ 2/3 を引き出します。



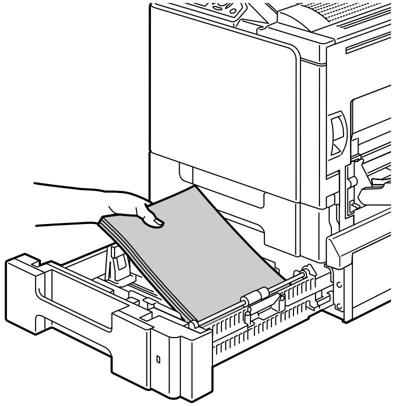
2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。



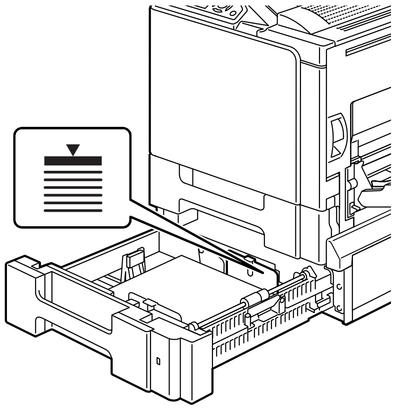
3 用紙ガイドを広げます。



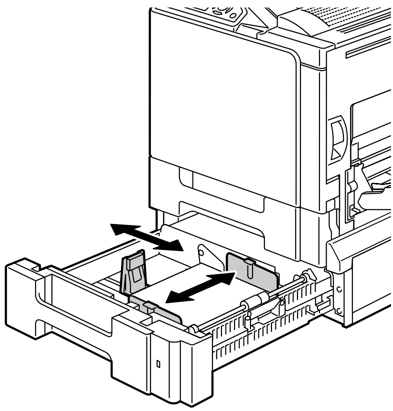
4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



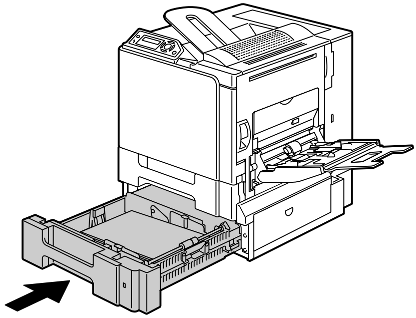
用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は 1 度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。



5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



6 トレイ 2/3 を閉じます。

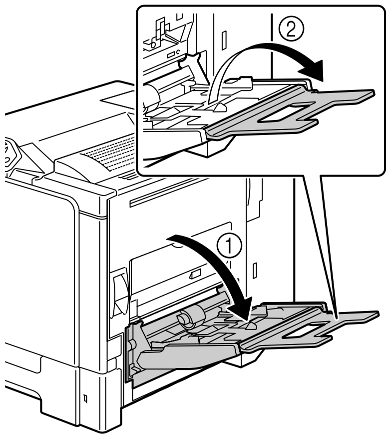


手差しトレイ

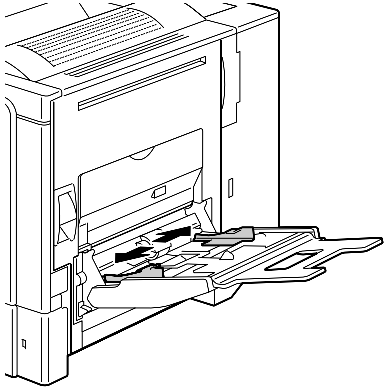
手差しトレイから印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。

普通紙の場合

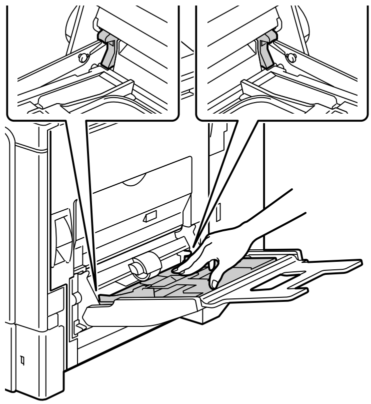
1 手差しトレイを開きます。



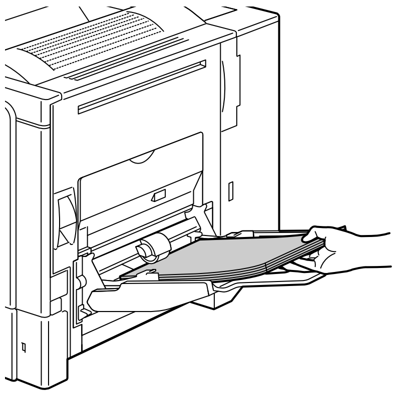
2 用紙ガイドを広げます。



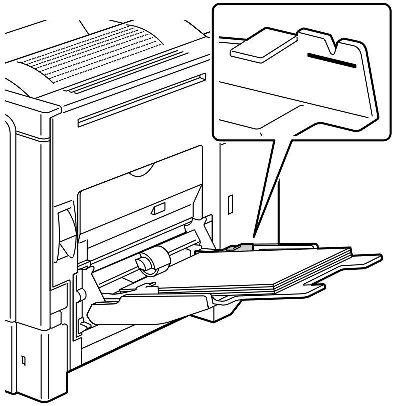
3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。



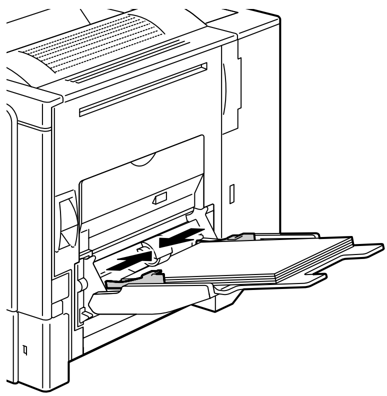
4 印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。



用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は 1 度に 100 枚（80 g/m²）までセットできます。



5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



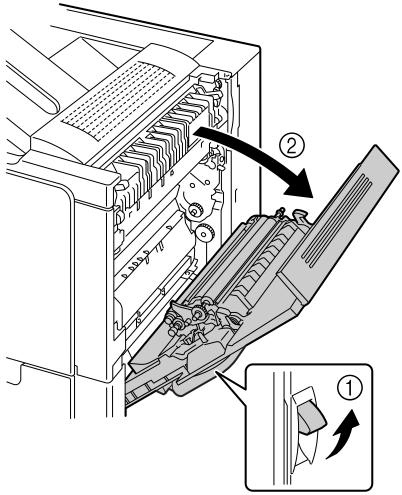
その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒、OHP フィルムなど）

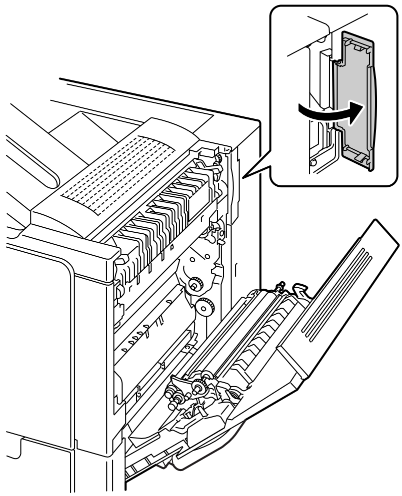
封筒の場合

1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

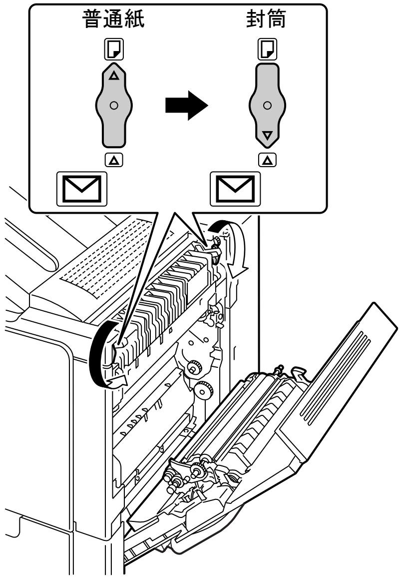
> 右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。



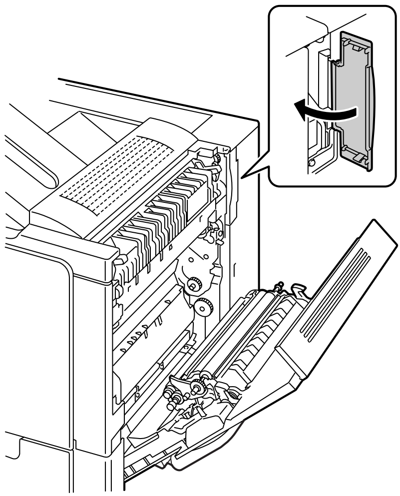
2 右ドアの横にあるドアを開きます。



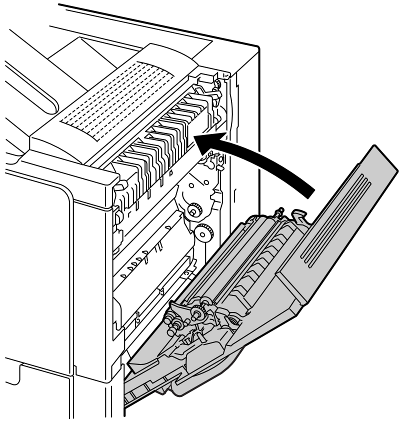
3 定着部の左右にある緑色のダイヤルを封筒側に合わせます。



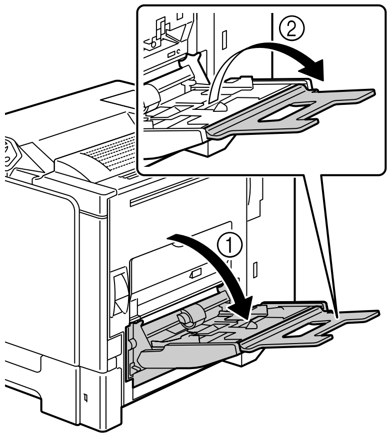
4 右ドアの横にあるドアを閉じます。



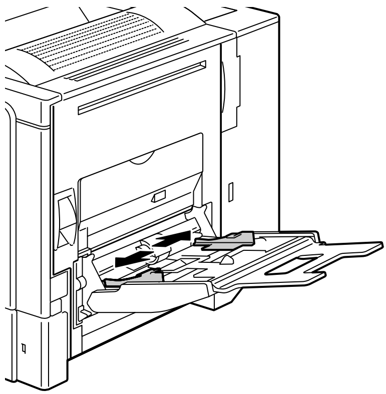
5 右ドアを閉じます。



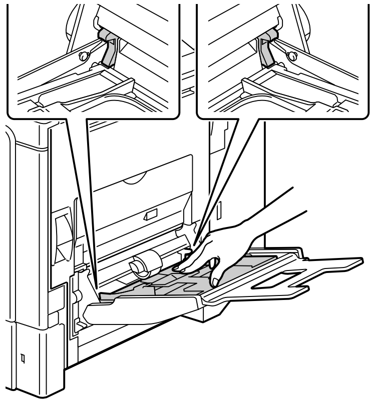
6 手差しトレイを開きます。



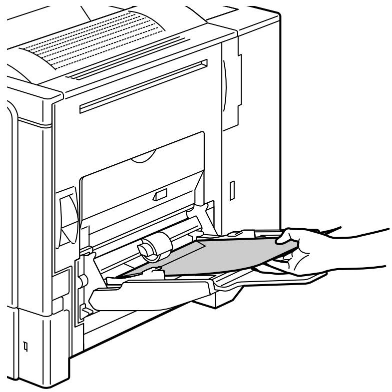
7 用紙ガイドを広げます。



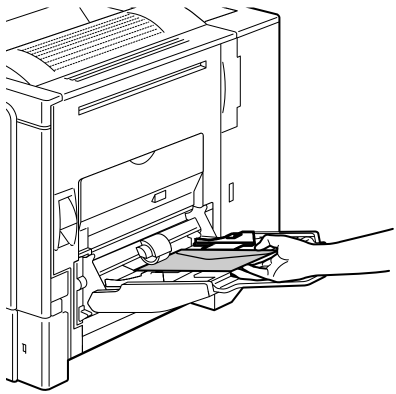
8 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。



9 フタを上側にして封筒をセットします。



セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。



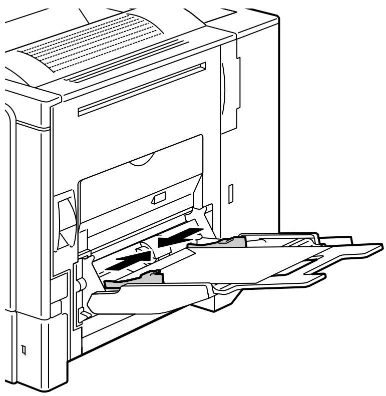
封筒は 1 度に 10 枚までセットできます。

フタが封筒の長辺にある場合はフタを右側にしてセットしてください。

10 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

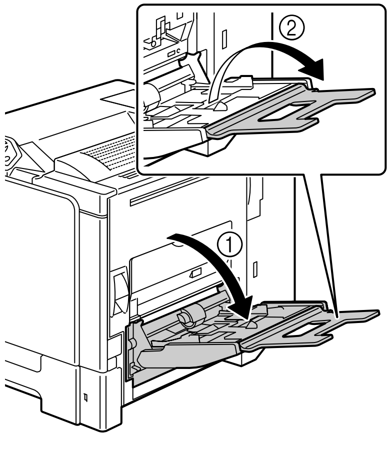


普通紙に印刷する場合は、定着ユニットのダイヤルを必ず普通紙側に戻してからプリントしてください。

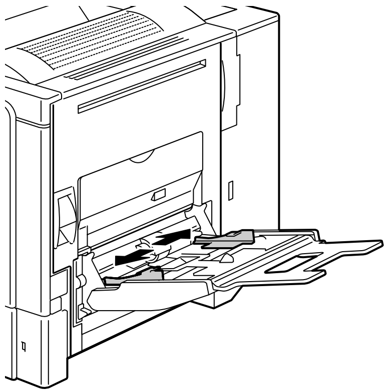


ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

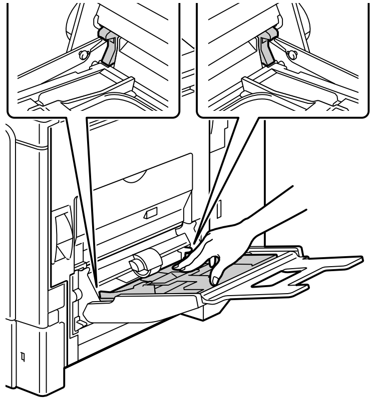
1 手差しトレイを開きます。



2 用紙ガイドを広げます。

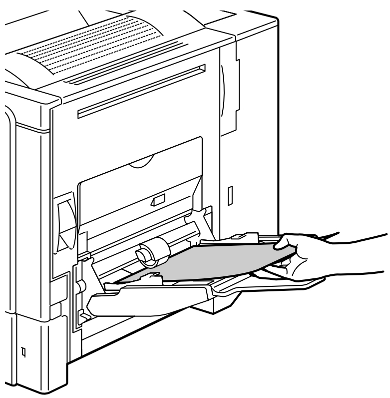


3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

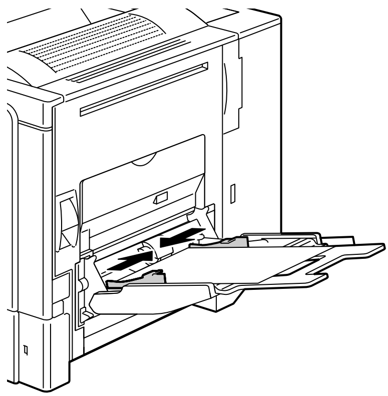


4 印刷面を下向きにして用紙をセットします。

用紙は 1 度に 20 枚までセットできます。



5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



両面印刷

両面印刷には両面プリントユニット（オプション）が必要です。取り付け方法は「両面プリントユニット の取り付け」（p.164）をごらんください。

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

複雑で画像の多いページを、高い解像度（2400 × 600 dpi）で両面フルカラー印刷する場合や、プリンタドライバの「用紙」タブにある「トランスミットワンス」を使用して印刷する場合に増設メモリが必要になります。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。

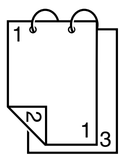
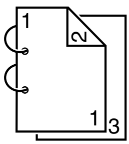
90 g/m² 以上の厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

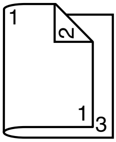
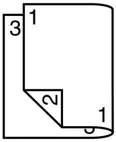
自動両面印刷の方法は？

両面プリントユニットがプリンタに装着されている状態で、両面印刷を行います。両面プリントユニットがプリンタに装着されていない状態で、両面印刷を行うと、操作パネルのメッセージウィンドウに「ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」と表示されます。

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	短辺綴じに設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	長辺綴じに設定すると、横にめくるレイアウトになります。

	小冊子左綴じに設定すると、左開きの本のようにレイアウトされます。
	小冊子右綴じに設定すると、右開きの本のようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 250 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

7

消耗品および定期交換部品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

ご注意

エラーメッセージ (X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ , ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ など）が表示されたときは、トウケイデータページを出力し、他の消耗品のステータスを確認してください。エラーメッセージの詳細については、「エラーメッセージ（警告）」（p.153）をごらんください。トウケイデータページの出力については、「トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する」（p.118）をごらんください。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアされません。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。プリンタ製品番号とトナーカートリッジ製品番号は前ドアの内側のラベルでご確認ください。

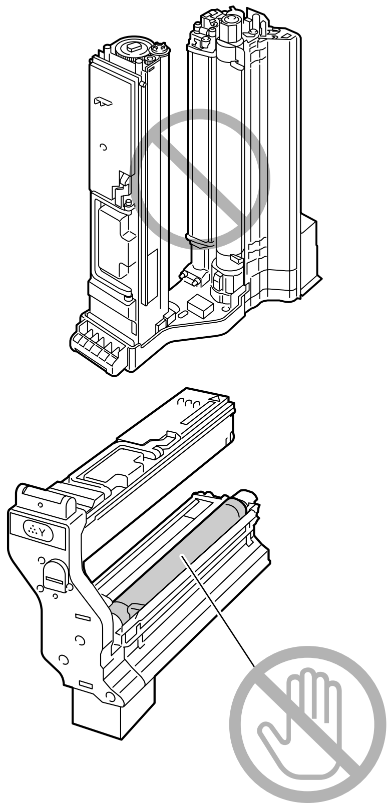
プリンタ製品番号	**トナーカートリッジタイプ**	**トナーカートリッジ製品番号**
5250224-300	トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710581-001
	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710581-002
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710581-003
	トナーカートリッジ - シアン（C）	1710581-004
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710603-005
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710603-006
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710603-007
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	1710603-008

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

ご注意

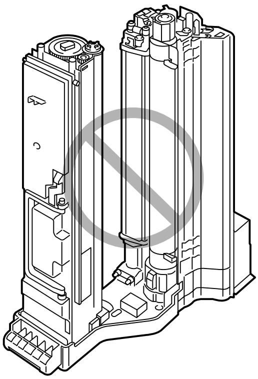
トナーカートリッジを立てて持たないでください。

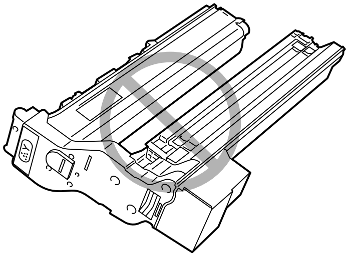
OPC ドラムの表面に手を触れないでください。印刷品質低下の原因になります。



トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下､湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。





- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

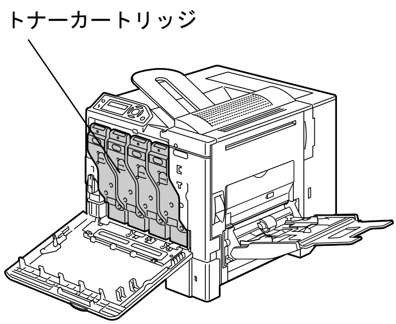
ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ（X はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。ここではイエロートナーカートリッジを例に説明します。

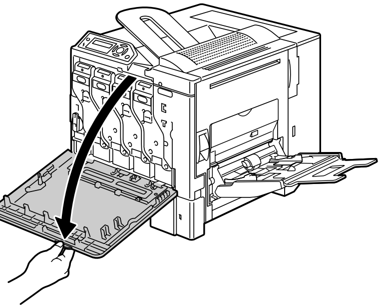
ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｴﾝﾌﾟﾃｨメニューでｺﾝﾃｨﾆｭｰにセットされている場合、X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝのメッセージが表示された後でも印刷を続行できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。

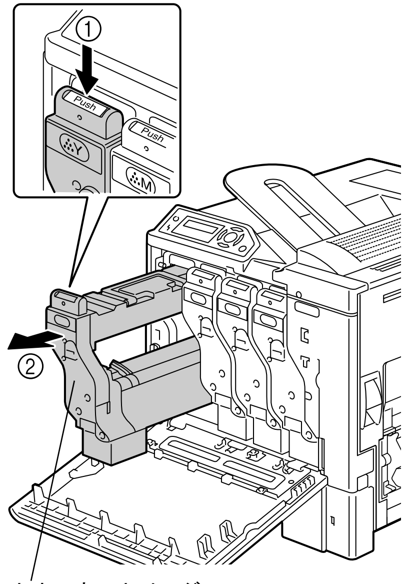


1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。

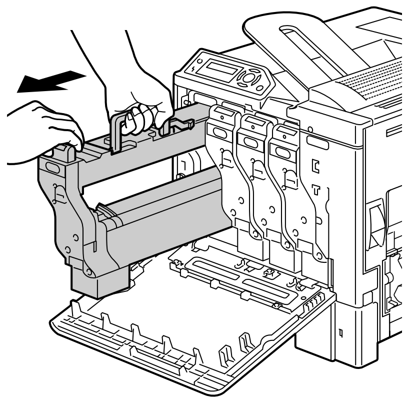
2 前ドアを開きます。



3 交換するトナーカートリッジのPush 部を押し下げ（①）、止まる位置まで引き出します（②）。



4 図のように取っ手を持ち、引き抜きます。



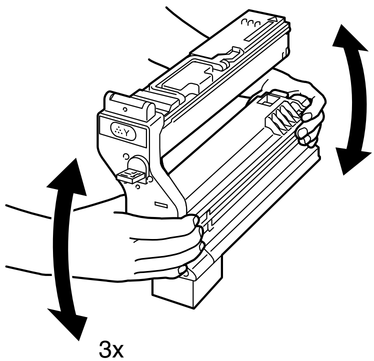
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

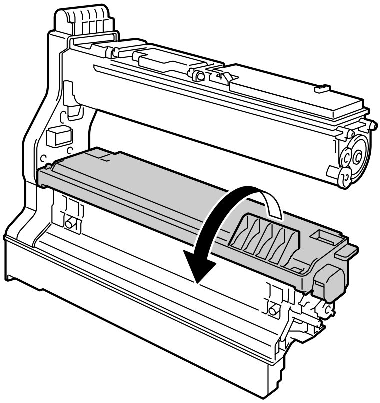
5 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

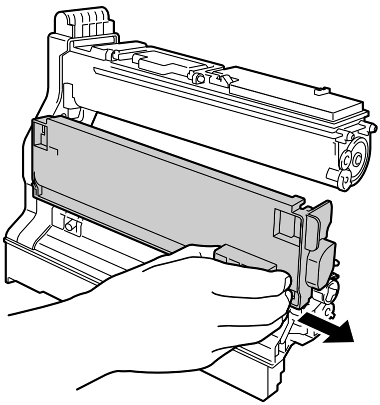
OPC ドラムカバーが装着されていることを確認してから振ってください。



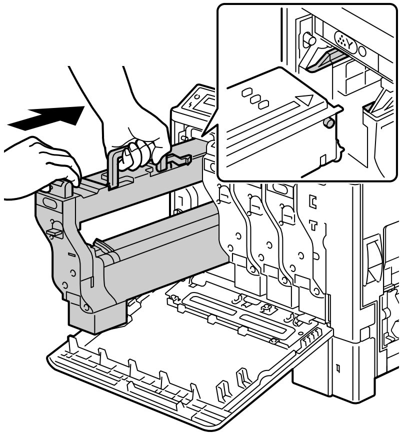
7 トナーカートリッジの OPC ドラムカバーを手前に起こします。



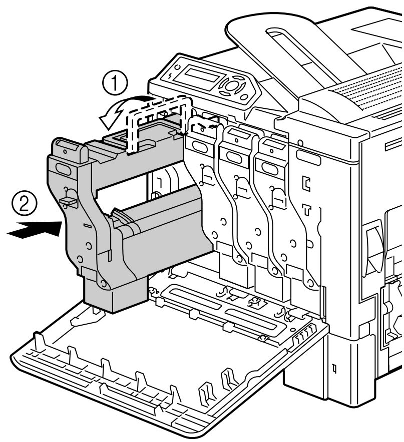
8 トナーカートリッジから OPC ドラムカバーをスライドさせて取り外します。



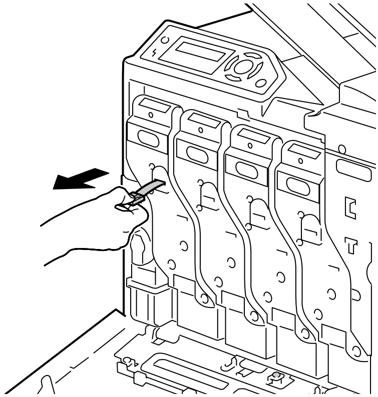
9 取っ手を持ち本体内部のレールに沿って止まる位置まで押し込みます。



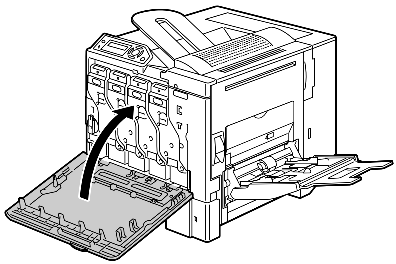
10 取っ手を倒し（①）、最後まで確実に押し込みます（②）。



11 トナーカートリッジの保護フィルムをまっすぐ、ゆっくりと引き抜きます。



12 前ドアを閉じます。



トナーカートリッジが最後まで押し込まれていない場合、前ドアは閉まりません。



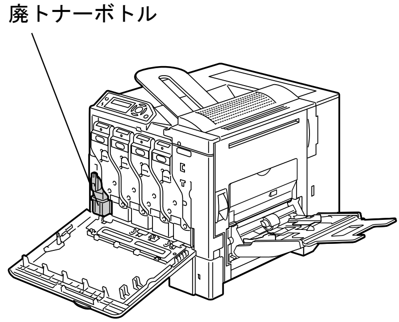
トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（75 秒間未満）を行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ」が表示される前に前ドアを開けると、キャリブレーションを停止し、前ドアを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。



廃トナーボトルの交換

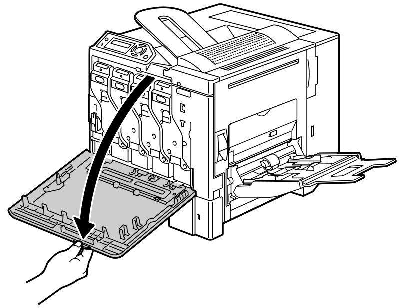
廃トナーボトルがいっぱいになると「ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されます。プリンタは印刷を中断し、廃トナーボトルを交換後に印刷を再開します。

廃トナーボトルは右図の位置にあります。

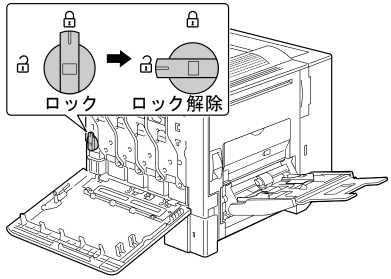


廃トナーボトル交換手順

1 前ドアを開きます。

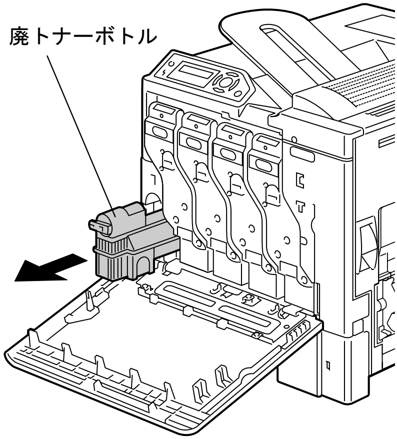


2 廃トナーボトルのダイヤルを反時計回りにロック解除の位置まで回します。

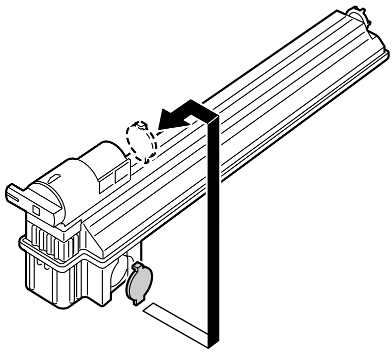


3 廃トナーボトルをゆっくり引き抜きます。

トナーがこぼれないよう注意してください。



4 廃トナーボトルの側面についているキャップを取り外し、図の位置へ取付けます。



5 廃トナーボトルを廃棄します。

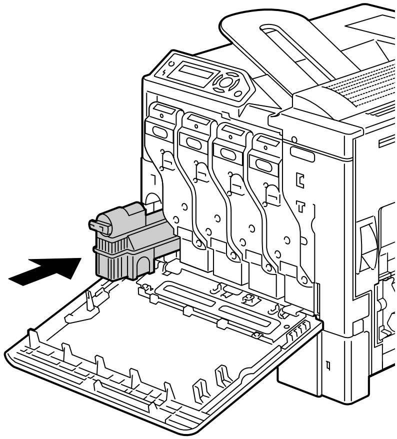
ご注意

使用済み廃トナーボトルは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

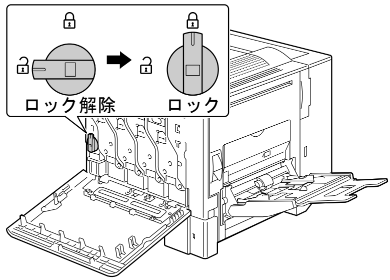
6 新しい廃トナーボトルを用意します。

取付ける前にダイヤルがロック解除の位置になっていることを必ず確認してください。

7 廃トナーボトルを取付けます。
最後まで確実に押し込みます。

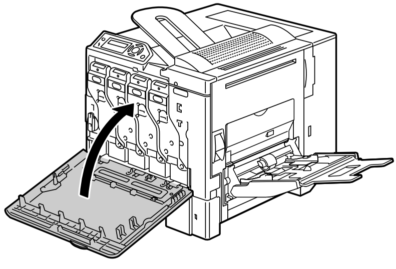


8 ダイヤルを時計回りにロックの位置まで回します。



9 前ドアを閉じます。

廃トナーボトルが最後まで押し込まれていない場合や、ダイヤルがロックの位置になっていない場合、前ドアは閉まりません。



定期交換部品の交換のしかた

定期交換部品の交換は、保守サービス実施機関のサービスパーソンが実施します。定期交換部品の一覧については、「定期交換部品の寿命の目安」（p.178）をごらんください。

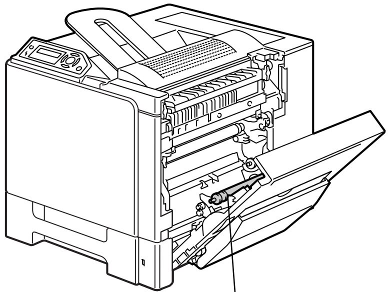
なお、転写ローラ（オゾンフィルタ同梱）、および転写ベルトはユーザー交換も可能です。それぞれ以下の手順をごらんください。

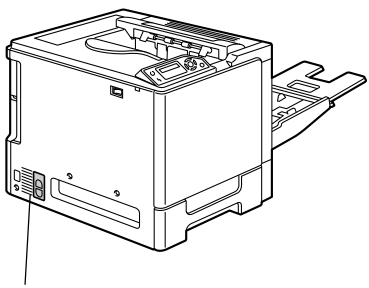
転写ローラーの交換

転写ローラーの交換時期がくると「ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかに転写ローラーを交換してください。

転写ローラー交換時には、オゾンフィルタの交換も行ってください。オゾンフィルタは転写ローラーの梱包箱に同梱されています。

転写ローラーとオゾンフィルタはそれぞれ右図の位置にあります。

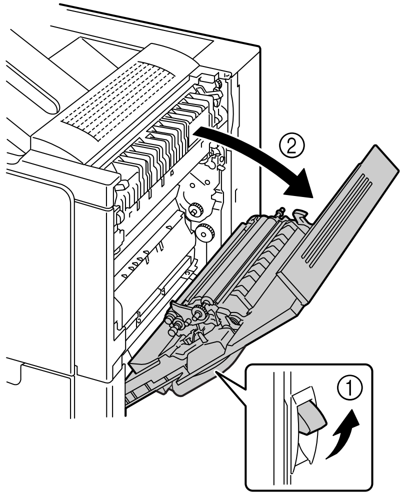




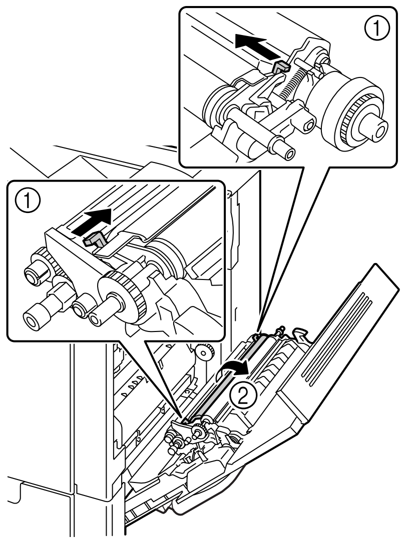
転写ローラー交換手順

1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

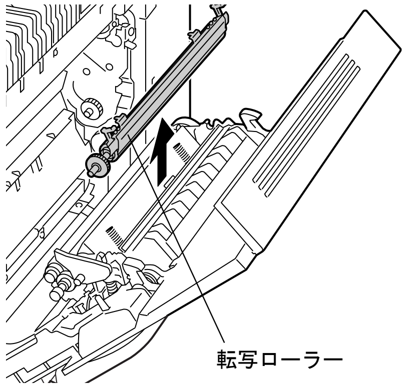
右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。



2 つまみを両側から内側に押しながら（①）、ローラー押えを手前に倒します（②）。

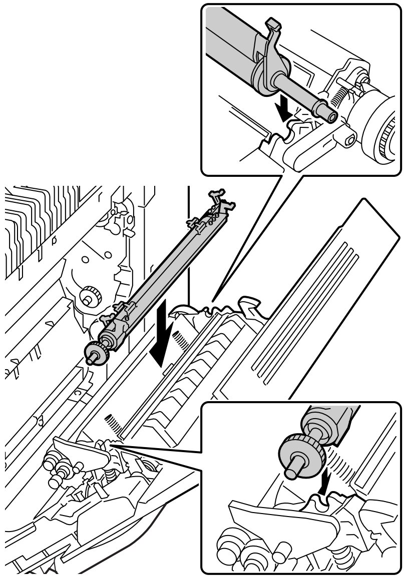


3 つまみを押えながら、転写ローラーを取り外します。

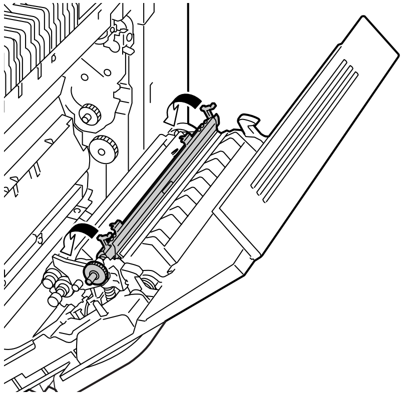


4 新しい転写ローラーを用意します。

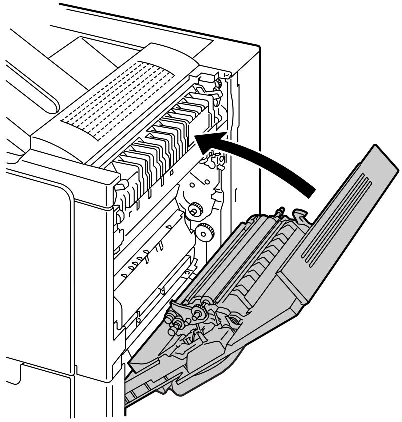
5 つまみを押えながら軸受けに転写ローラーの軸をセットします。



6 カチッと音がするまでローラー押さえを奥側に倒します。



7 右ドアを閉じます。

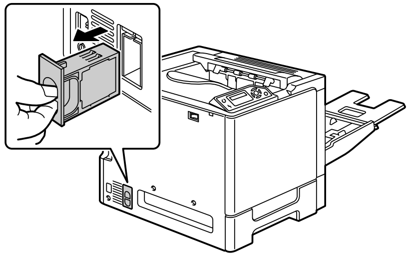


8 ｴﾝｼﾞﾝ/ｻｰﾋﾞｽ/ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰメニューでカウンタをリセットします。

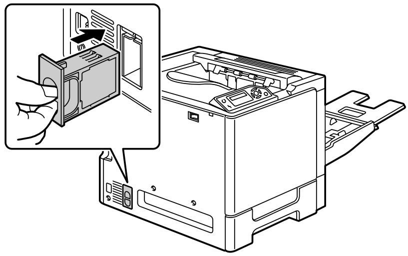
9 以下の手順に従ってオゾンフィルタの交換をおこないます。

オゾンフィルタの交換手順

1 プリンタからオゾンフィルタを抜き取ります。



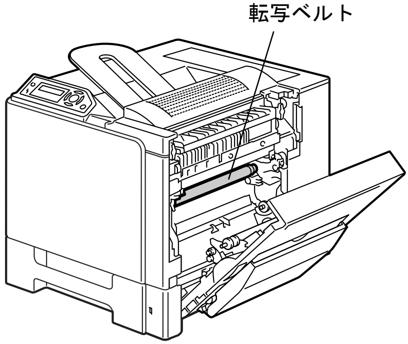
2 新しいオゾンフィルタを差し込みます。
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。



転写ベルトの交換

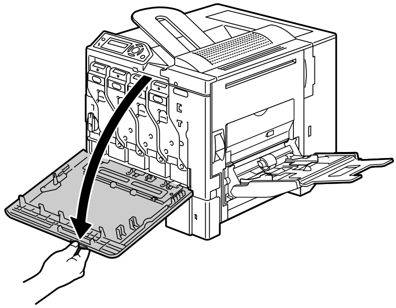
転写ベルトの交換時期がくると「ﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかに転写ベルトを交換してください。

転写ベルトは右図の位置にあります。

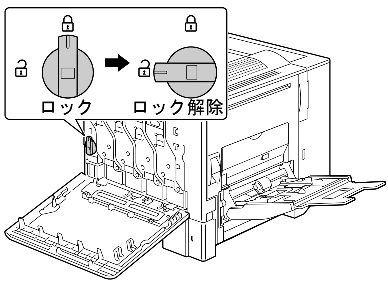


転写ベルト交換手順

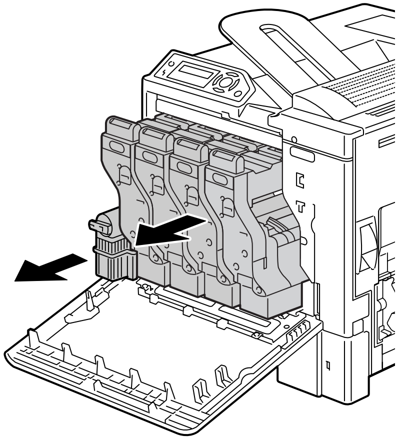
1 前ドアを開きます。



2 廃トナーボトルのダイヤルを反時計回りにロック解除の位置まで回します。

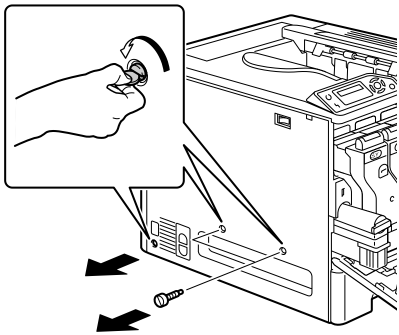


3 廃トナーボトルと 4 色全てのトナーカートリッジを 10 cm 程度引き出します。

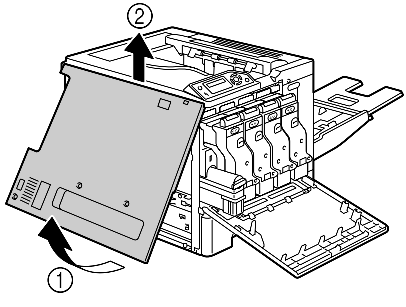


4 左サイドカバーのねじ（3 個）をコインを使って取り外します。

ねじはなくさないように注意してください。

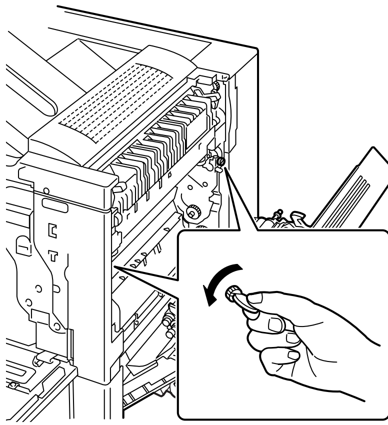


5 左サイドカバーを取り外します。

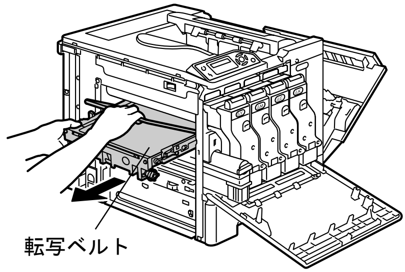


6 右ドアを開き、転写ベルトを固定している左右のねじをコインを使ってゆるめます。

> 右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。

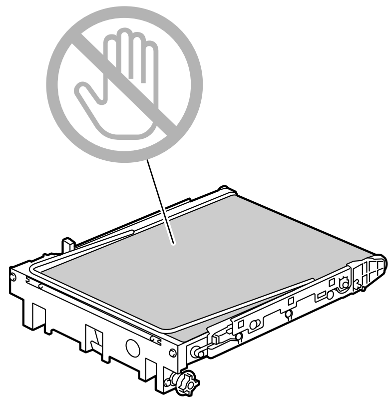


7 左サイドカバー側からアームを持って転写ベルトを静かに引き抜きます。

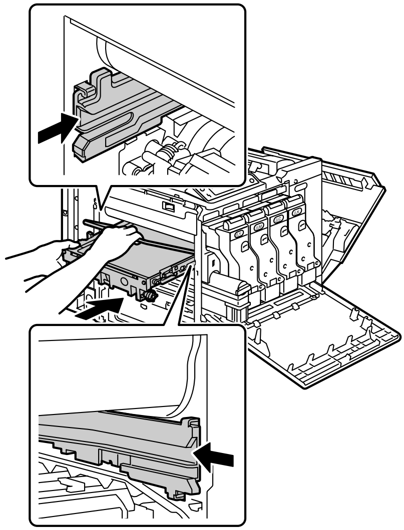


8 新しい転写ベルトを用意します。

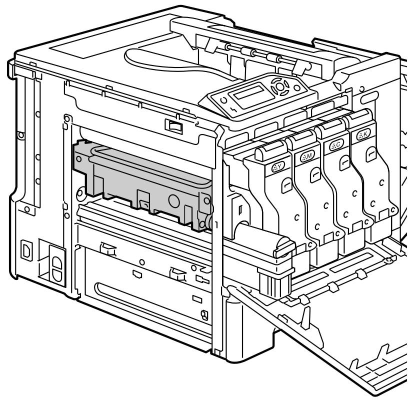
> ベルト部分には手を触れないよう注意してください。



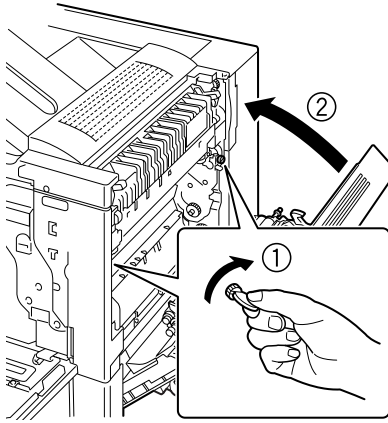
9 本体内部のレールに沿って新しい転写ベルトをセットします。



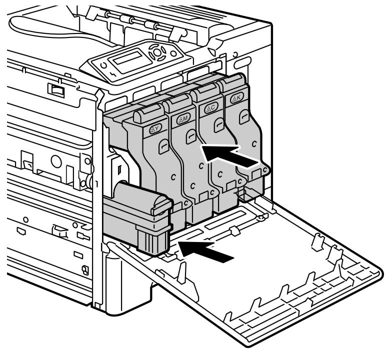
10 確実に最後まで押し込みます。



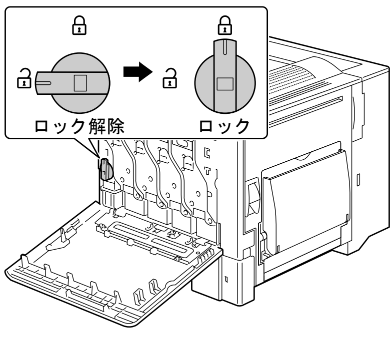
11 右ドア側の転写ベルトの固定ねじを締め付け（①）、右ドアを閉じます（②）。



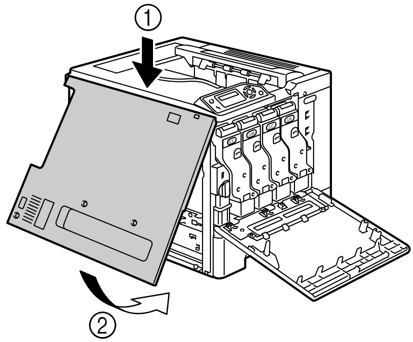
12 廃トナーボトルとトナーカートリッジを押し込みます。

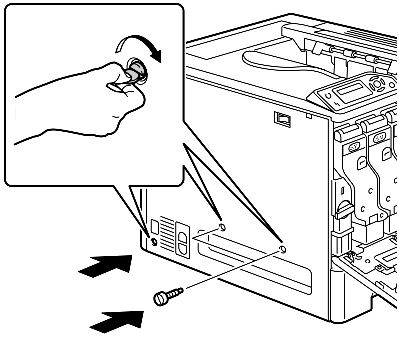


13 ダイヤルを時計回りにロックの位置まで回します。

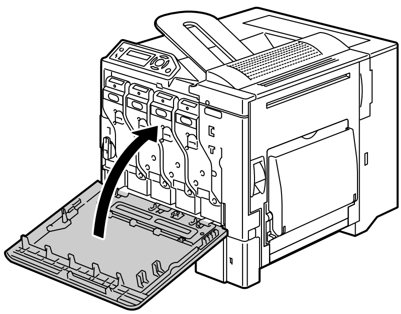


14 左サイドカバーを取付け、ねじを締めます。





15 前ドアを閉じます。



16 ｴﾝｼﾞﾝ/ｻｰﾋﾞｽ/ﾘｾｯﾄｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾍﾞﾙﾄメニューでカウンタをリセットします。

メンテナンス

8

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

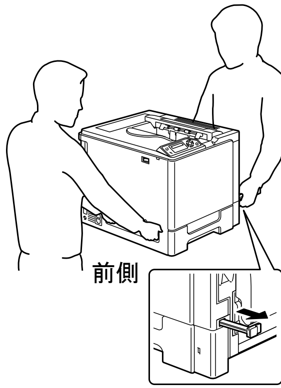
清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

注意

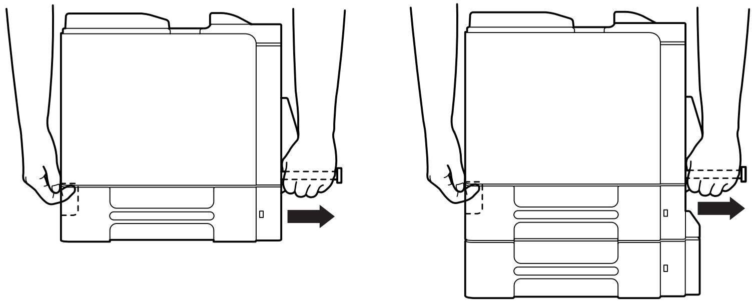
定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンタに振動を与えないようにしてください。

- プリンタを使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。
- プリンタのドアを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってトナーカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンタのいずれのドアも開けないでください。
- 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。
- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンタを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンタを移動するときは、必ず２人以上で持ち上げてください。トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。
- プリンタを運ぶ時は、必ず手差しトレイをたたみ、図に示す位置を持って運んでください。



オプションの給紙ユニット装着時も同様に、必ず下図に示す取手を持ってください。トレイ２または、トレイ３の取手（引き出し部）や給紙ユニット右側のカバーを持たないでください。給紙ユニットの破損の原因になります。



- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

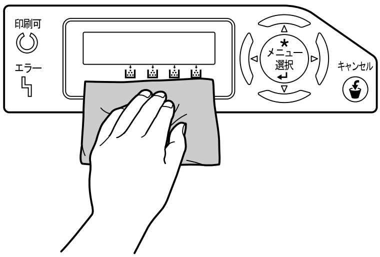
プリンタの清掃

注意

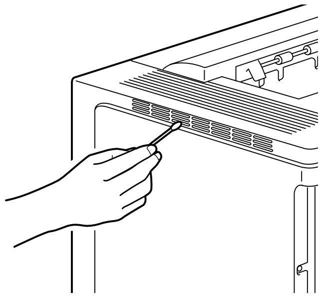
清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

プリンタ外側の清掃

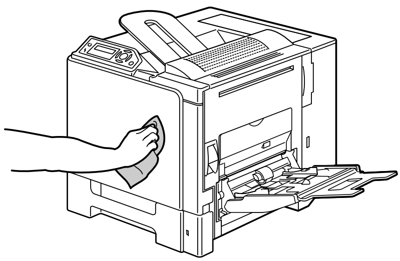
操作パネル



排気ダクト



プリンタの外側

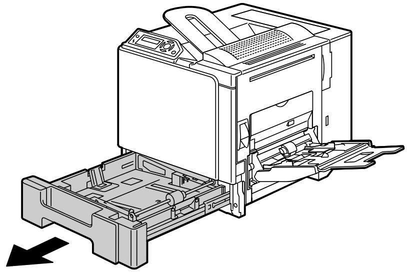


給紙ローラー

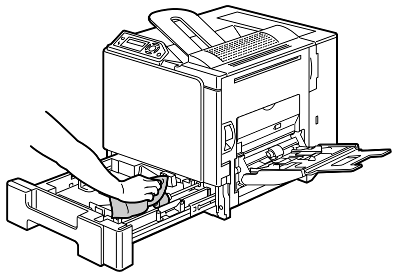
給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

給紙ローラーの清掃（全てのトレイ）

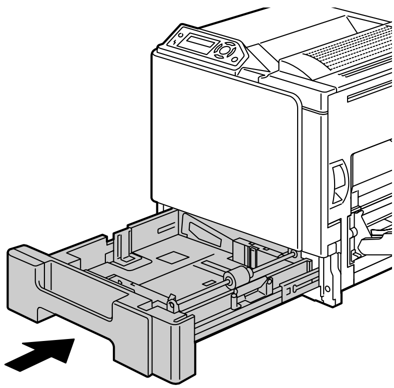
1 トレイを開きます。



2 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

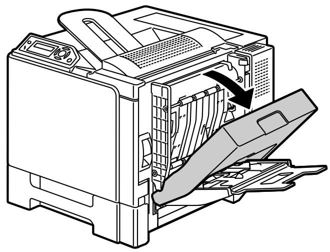


3 トレイを閉じます。

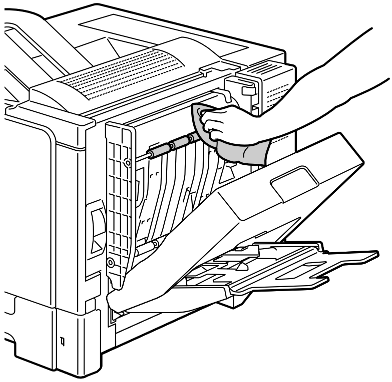


両面プリントユニットの搬送ローラーの清掃

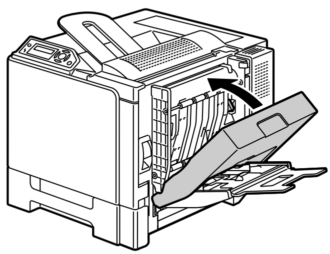
1 オプションの両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 搬送ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。



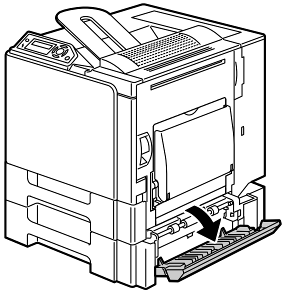
3 オプションの両面プリントユニットのカバーを閉じます。



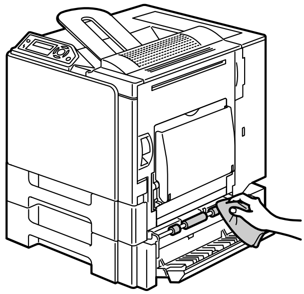
トレイ 2/3 の搬送ローラーの清掃

1 トレイ 2/3 の右ドアを開きます。

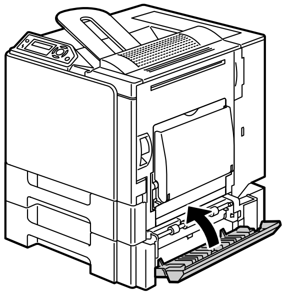
トレイ 2/3 の右ドアを開ける時は、手差しトレイをたたんでから開けてください。



2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。



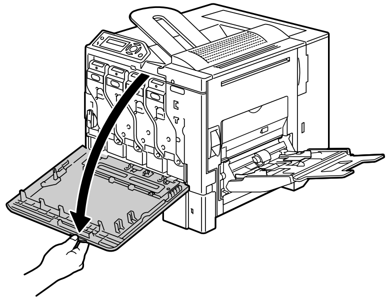
3 右ドアを閉じます。



レーザーレンズの清掃

本プリンタには 4 つのレーザーレンズがあります。全て以下の手順で清掃を行ってください。

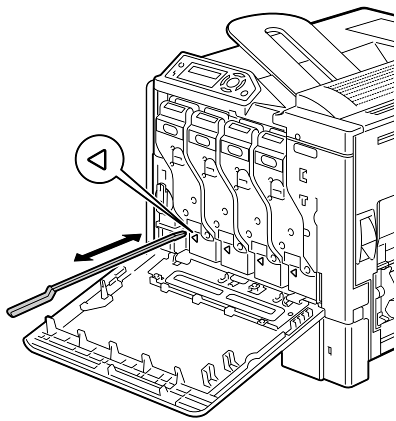
1 前ドアを開きます。



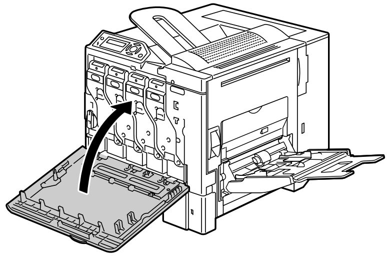
2 トナーカートリッジの下部にあるマークに合わせて、レーザーレンズ清掃具を廃トナーボトルとイエローのトナーカートリッジの間に差し込み、2 〜 3 回前後に動かします。

3 同様にして各トナーカートリッジの間も清掃します。

レーザーレンズ清掃具はプリンタの梱包箱に同梱されています。
レーザーレンズ清掃具はなくさないように保管してください。



4 前ドアを閉じます。



9
トラブル
シューティング

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する

トウケイデータページを印刷し、プリンタが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
	ﾚﾃﾞｨ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙﾍﾟｰｼﾞ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ
＊ メニュー 選択 ↵	トウケイデータページが印刷され「ﾚﾃﾞｨ」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

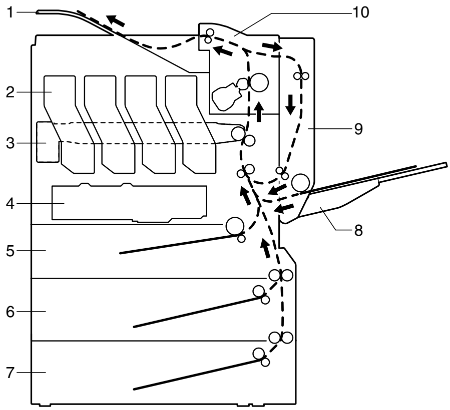
避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 250 枚まで排紙できます。250 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　排紙トレイ
2　トナーカートリッジ
3　転写ベルト
4　レーザー
5　トレイ 1
6　トレイ 2（オプション）
7　トレイ 3（オプション）
8　手差しトレイ
9　両面プリントユニット（オプション）
10 定着ユニット

プリンタ内部断面図



紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

⚠ 注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

⚠ 注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンタのドアの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

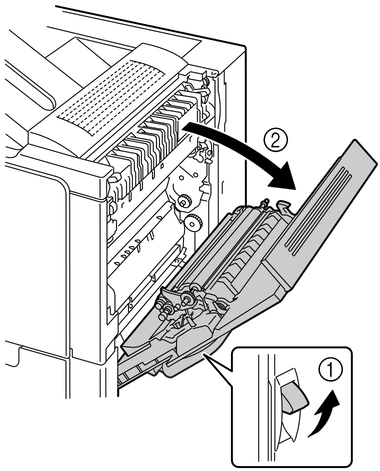
紙づまりメッセージ	参照ページ
ﾄﾚｲ 1 ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 123
ﾄﾚｲ 2 ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 126
ﾄﾚｲ 3 ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 126
ﾘｮｳﾒﾝｹﾞﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 128

紙づまりメッセージ	参照ページ
ﾘｮｳﾒﾝｼﾞｮｳﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 128
ﾃｲﾁｬｸｴﾘｱﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 129
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 132
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 132

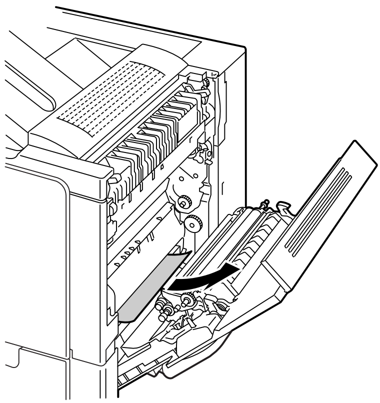
トレイ 1 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

> 右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。

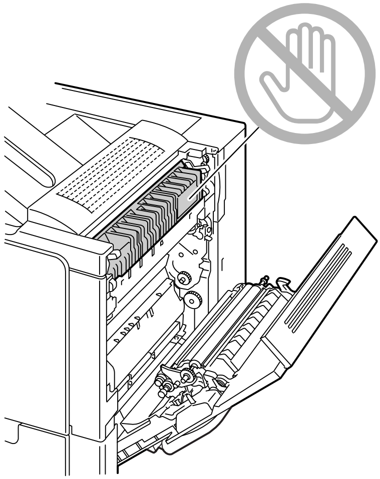


2 つまった用紙をゆっくりと引出します。



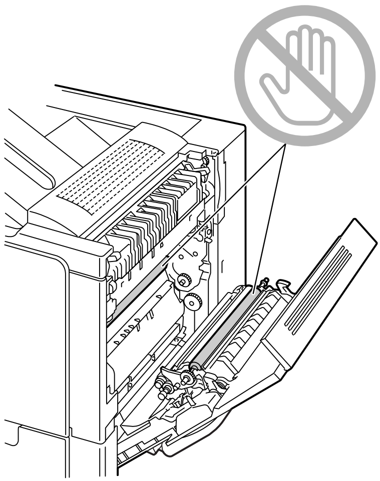
注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

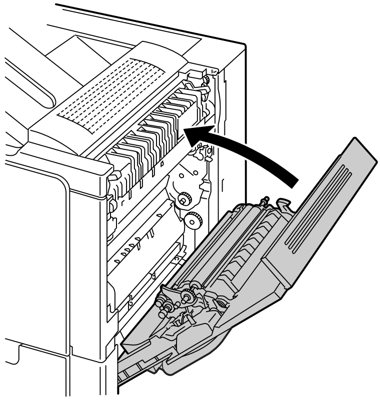


ご注意

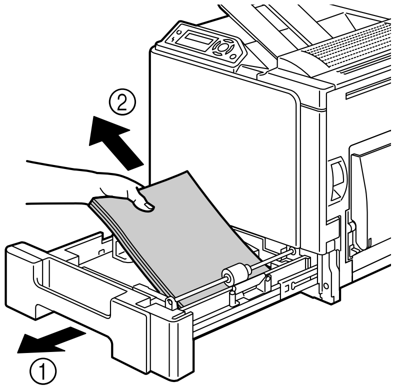
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



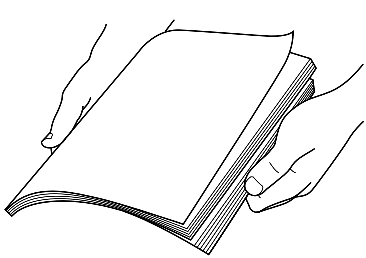
3 右ドアを閉じます。



4 トレイ 1 を引出し（①）、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②）。



5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。



OHP フィルムの場合はさばかないでください。静電気が発生し、紙づまりの原因になります。

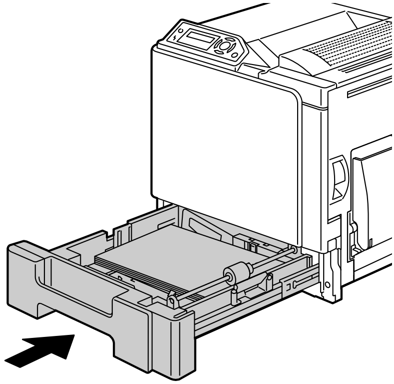
6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 1 にセットします。

用紙は平らにセットしてください。

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

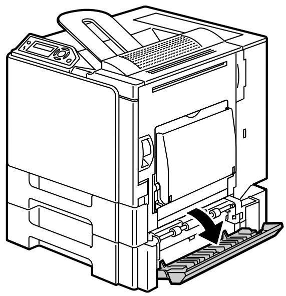
7 トレイ 1 を閉じます。



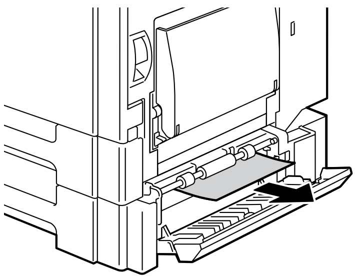
トレイ 2/3 での紙づまり処理

1 トレイ 2（トレイ 3）の右ドアを開けます。

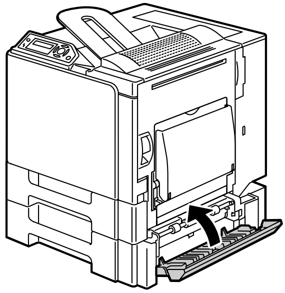
トレイ 2/3 の右ドアを開ける時は、手差しトレイをたたんでから開けてください。



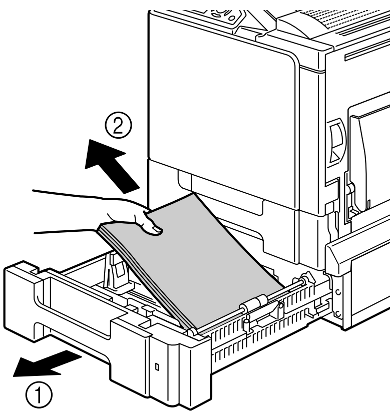
2 つまった用紙をゆっくりと引出します。



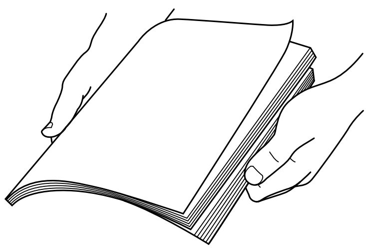
3 トレイ 2（トレイ 3）の右ドアを閉じます。



4 トレイ 2（トレイ 3）を引出し（①)、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②)。



5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。



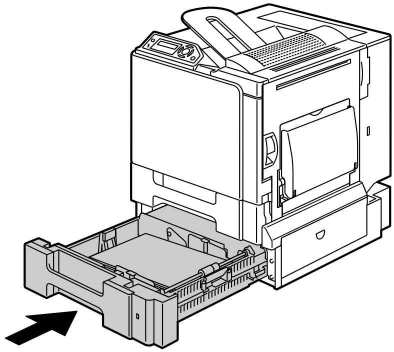
6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 2（トレイ 3）にセットします。

用紙は平らにセットしてください。

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

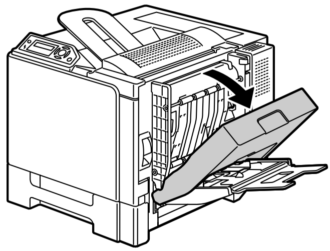
用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

7 トレイ 2（トレイ 3）を閉じます。

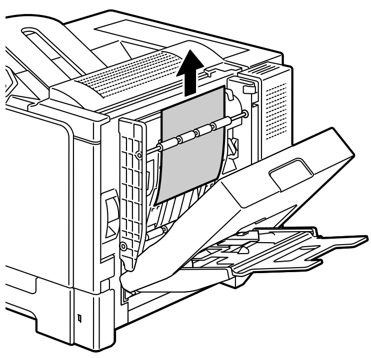


両面プリントユニットでの紙づまり処理

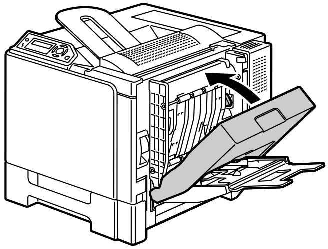
1 両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。



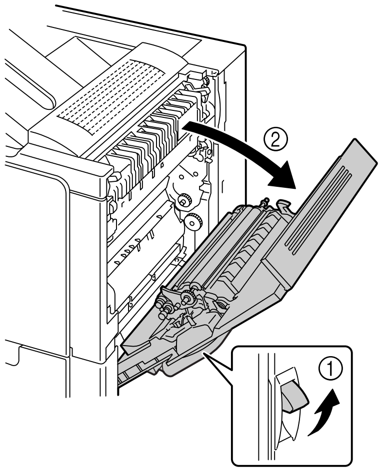
3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。



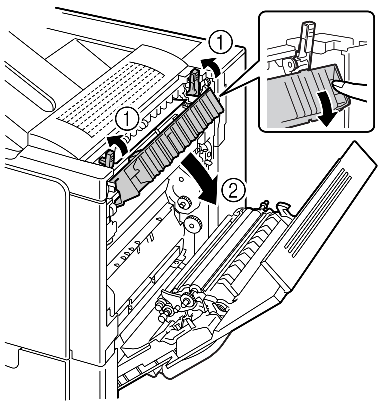
定着ユニットでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

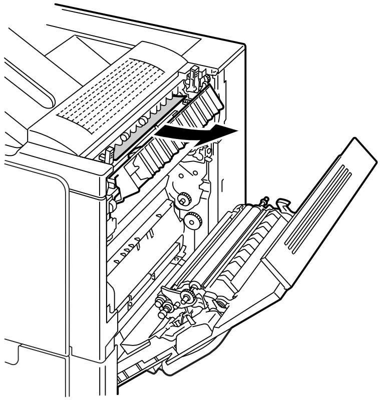
右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。



2 定着カバーのレバー（2 箇所）を押し上げ（①）、定着カバーを開きます（②）。

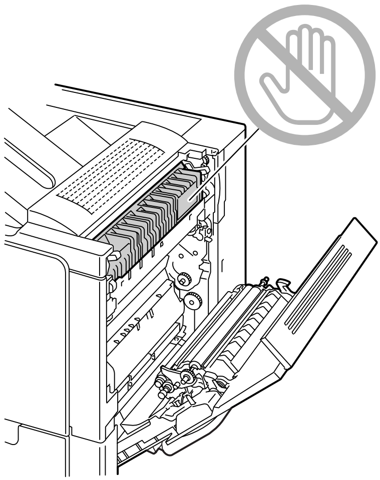


3 つまった用紙をゆっくりと引出します。



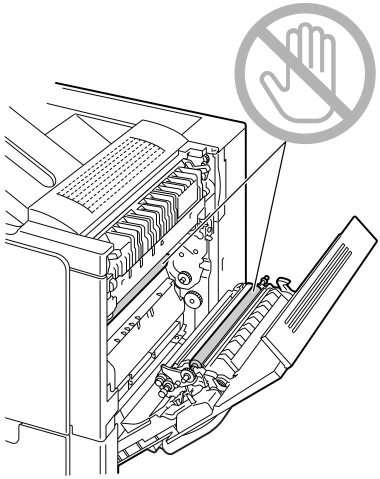
注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

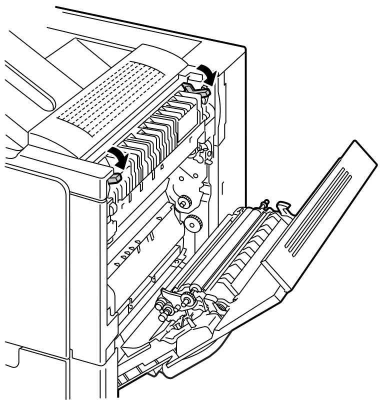


ご注意

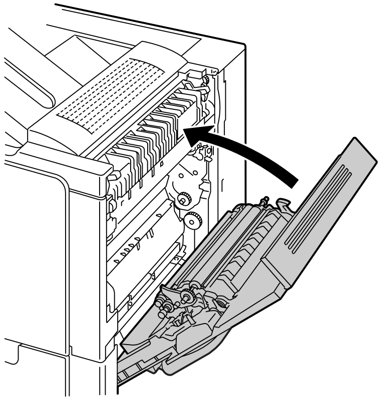
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



4 レバーを押し下げます。



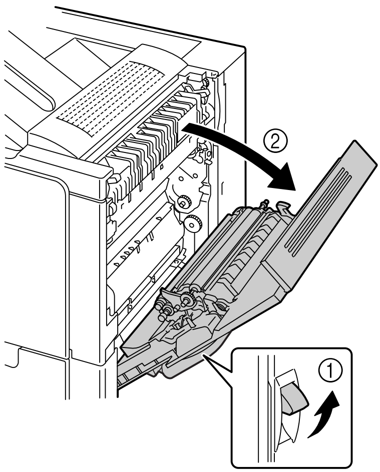
5 右ドアを閉じます。



手差しトレイ／転写ローラーでの紙づまり処理

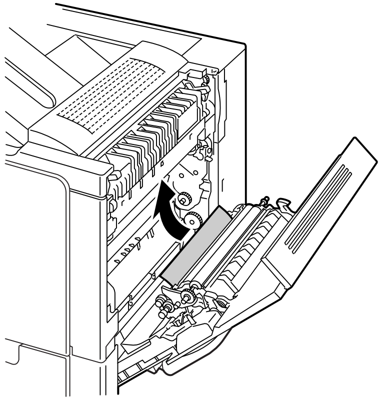
1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。

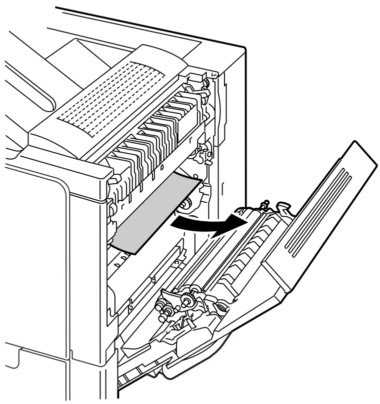


2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

手差しトレイで紙づまりの場合

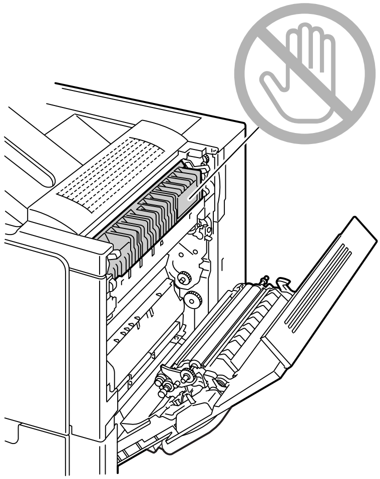


転写ローラーで紙づまりの場合



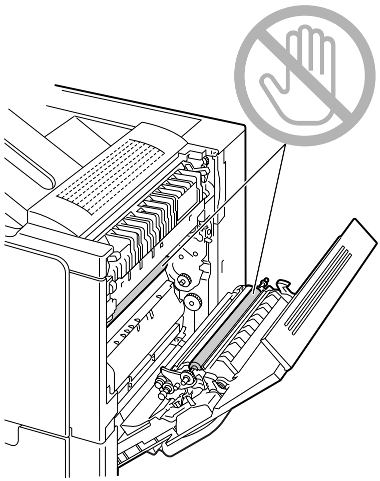
注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

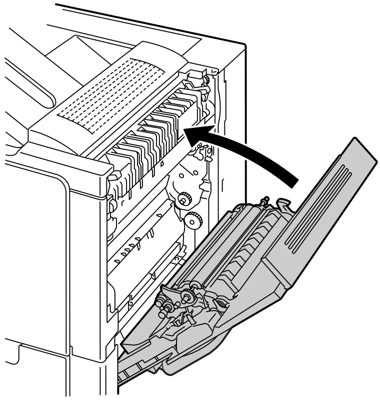


ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



3 右ドアを閉じます。



紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	OHP フィルム以外の用紙は、よくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	プリンタの右ドアを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、60 ～ 90 g/m² の普通紙で両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		厚紙や封筒、ラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トレイ 1/2/3 に不定形紙、厚紙、ラベル紙、封筒、官製はがき、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙は手差しトレイにセットしてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、手差しトレイに逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒が手差しトレイに正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを上側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを右側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイで静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつ手差しトレイにセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラー」（p.112）をごらんください。

その他の問題

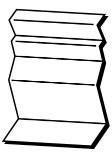
症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.174）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「Xﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.174）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
トウケイデータページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	プリンタのドアがしっかり閉まっていない。	プリンタのドアがしっかり閉まっているか確認してください。すべてのドアを、プリンタを傷めないようにゆっくり閉じてください。前ドアを閉じるときは、廃トナーボトルとトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
デジタルカメラからの印刷ができない	プリンタのファームウェアのバージョンが 03.XX 以上になっていない。	トウケイデータページを印刷し、プリンタのファームウェアのバージョンを確認してください。 ファームウェアのバージョンが 03.XX 以上になっていない場合は、カメラダイレクトプリント CD-ROM 内の「magicolor DL シリーズファームウェアアップデートガイド」を参照して、ファームウェアをアップデートしてください。
	デジタルカメラが転送モードになっている。	デジタルカメラの設定を印刷用にしてください。

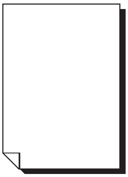
症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに「ｼﾞｭﾝｾｲ X ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。
操作パネルのメニューで設定変更が終わらないうちに「ﾚﾃﾞｨ」画面に戻ってしまう	メニュー画面で設定変更中に 2 分間何も選択されていない。	メニュー画面では、2 分経つ前にメニュー・項目を選択してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	プリンタのインターフェースケーブルの種類またはポートが間違っている。	インターフェースケーブルを確認してください。
	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 5440 DL 以外のプリンタドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、magicolor 5440 DL のプリンタドライバで書き出したオーバーレイファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル、はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 手差しトレイに異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「デバイスオプションの設定」タブで両面プリントユニットが「インストール済みオプション」に設定されているか確認してください。
		プリンタドライバの「セットアップ」タブの「両面印刷／小冊子（袋とじ）印刷」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、「部単位で印刷（仕分け、コレート）」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「部単位で印刷」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「部単位で印刷」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

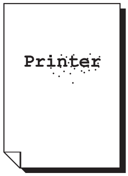
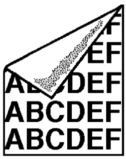
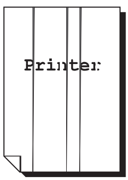
症状	原因	処置のしかた
小冊子（袋とじ）印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「部単位で印刷」の設定がされている。	小冊子（左綴じ／右綴じ）印刷を行う場合、「部単位で印刷」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	6 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Weg Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 5440 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。

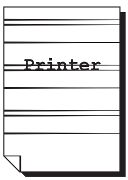
印刷品質の問題

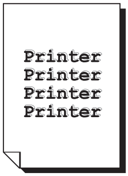
症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.54）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。

症状	原因	処置のしかた
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
横方向に線や帯が現れる 	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」または「X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	前ドアがきちんと閉まっていない。	前ドアが確実に閉まっていることを確認してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が不十分、または色の濃度が薄い 	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「magicolor 5440 DL ジェネラルインフォメーションガイド」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾚﾃﾞｨ	プリンタは印刷可能な状態です。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ処理中です。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷処理中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝﾁｭｳ	プリンタは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 電源オンの起動時 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。	
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電モードになり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、プリンタは 30 秒以内に通常の消費電力に戻ります。	
ｼﾞｮﾌﾞﾉｷｬﾝｾﾙﾁｭｳ	プリントジョブがキャンセルされています。	
ｶﾞｿﾞｳﾃﾝｶｲﾁｭｳ	デジタルカメラの写真画像データをプリンタへ展開中です。	

エラーメッセージ（警告）

ご注意

エラーメッセージ (X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ，ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾗｲﾌｴﾝﾄﾞなど）が表示されたときは、トウケイデータページを出力し、他の消耗品のステータスを確認してください。トウケイデータページの出力については、「トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する」（p.118）をごらんください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻﾎﾟｰﾄｶﾞｲDIMM	対応していない増設メモリが取り付けられています。	増設メモリの仕様を確認し、対応している増設メモリを取り付けてください。
ﾄﾚｲX ﾖｳｼﾅｼ	トレイ X（トレイ 1 またはトレイ 2、トレイ 3）がプリンタドライバの「給紙カセット」で指定されていますが、トレイに用紙がありません。	指定された給紙トレイに用紙をセットしてください。
ﾃｲﾁｬｸﾗｲﾌﾛｰ	定着ユニットがもうすぐ寿命です。	必要であれば販売店または弊社に連絡してください。
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾗｲﾌﾛｰ	転写ローラーがもうすぐ寿命です。	新しい転写ローラーを準備してください。
ﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄﾗｲﾌﾛｰ	転写ベルトがもうすぐ寿命です。	新しい転写ベルトを準備してください。
ﾃｲﾁｬｸﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ	定着ユニットが寿命です。	販売店または弊社に連絡してください。
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ	転写ローラーが寿命です。	転写ローラーを交換し、ｴﾝｼﾞﾝ/ｻｰﾋﾞｽ/ﾘｾｯﾄ ｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾛｰﾗメニューでカウンタをリセットしてください。
ﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄﾗｲﾌｴﾝﾄﾞ	転写ベルトが寿命です。	転写ベルトを交換し、ｴﾝｼﾞﾝ/ｻｰﾋﾞｽ/ﾘｾｯﾄｶｳﾝﾀﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄメニューでカウンタをリセットしてください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙﾊﾎﾎﾞﾌﾙ	廃トナーボトルがもうすぐいっぱいになります。	新しい廃トナーボトルを準備してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
X ﾄﾅｰﾛｰ	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
ｻｲｽﾞ ﾐｽﾏｯﾁ	ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ（エンジンメニュー）がｵﾝにセットされている時に表示されます。	正しいサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。
ﾀﾀﾞｼｲ X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
X ﾄﾅｰｶﾞ ﾗｲﾌｦｺｴﾃｲﾏｽ	X トナーカートリッジ内のトナーが完全になくなったか、トナーカートリッジが寿命を超えました。	トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾚｲ X ｦ ｶｸｼﾞﾂﾆｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	給紙トレイ X（トレイ 1 またはトレイ 2、トレイ 3）が給紙ユニットに取り付いていないか、正しく差し込まれていません。	給紙トレイを給紙ユニットに確実に差し込んでください。
ﾃｻｼﾄﾚｲ ﾆ ﾖｳｼｦｾｯﾄ YYYY	プリンタドライバで設定されている用紙種類、サイズと手差しトレイにセットされている用紙の種類、サイズが異なります。	正しい種類、サイズの用紙を手差しトレイにセットしてください。
ﾄﾚｲ X ﾆ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄ YYYY	プリンタドライバで設定されている用紙サイズとトレイにセットされているサイズが異なります。	正しいサイズの用紙を指定されたトレイにセットしてください。
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	手差しトレイで紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾄﾚｲ X ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	トレイ X の給紙部で紙づまりが起きています。	
ﾘｮｳﾒﾝｹﾞﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	両面プリントユニットの搬送部（下段）で紙づまりが起きています。	
ﾘｮｳﾒﾝｼﾞｮｳﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	両面プリントユニットの内部（上段）で紙づまりが起きています。	
ﾃｲﾁｬｸｴﾘｱﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾐﾃｲｷﾞﾌﾞﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	両面印刷時のプリンタドライバからの設定が矛盾している（セットされている用紙と異なる種類、サイズの用紙が指定されているなど）ため紙づまりが起きています。 （ステータスディスプレイでは「イリーガルアクションによる紙詰まり」と表示されます。）	紙づまりの処理後、ドライバの設定を確認してください。
ｻｲｽﾞ /ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用しています。	正しいサイズ、種類の用紙をセットしてください。
ｻｲｽﾞ /ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝ	両面印刷に対応していない用紙がセットされています。	両面印刷に対応したサイズ、種類の用紙を使用してください。
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの両面プリントユニット未装着の状態で、プリンタドライバの両面印刷が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更してください。必要に応じて、両面プリントユニットを取り付けてください。
ﾄﾚｲ X ｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの給紙ユニット未装着の状態で、プリンタドライバの「給紙カセット」に「トレイ X（トレイ 2 またはトレイ 3）」が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更してください。必要に応じて、給紙ユニットを取り付けてください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボトルが廃トナーでいっぱいになりました。	新しい廃トナーボトルに交換してください。
ﾃｲﾁｬｸｷｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	定着ユニットが取り付けられていません。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	廃トナーボトルが取り付けられていません。	廃トナーボトルを取り付けてください。
X ﾄﾅｰｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	X トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾚｲ X ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	給紙トレイ X（トレイ 2 またはトレイ 3）の右ドアが開いています。	各トレイの右ドアを閉じてください。
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	両面プリントユニットのカバーが開いています。	両面プリントユニットのカバーを閉じてください。
ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	右ドアが開いています。	右ドアを閉じてください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	前ドアが開いています。	前ドアを閉じてください。
ﾋﾞﾃﾞｵｱﾝﾀﾞｰﾗﾝ ｴﾗｰ	プリンタ内部の通信速度で処理できない量のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ ｴﾗｰ	プリンタは、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。 問題が解決しない場合は、オプションのメモリを増設してください。
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	手差しトレイ未装着の状態で、プリンタドライバの「給紙カセット」に「手差しトレイ」が指定されました。	手差しトレイを取り付けてください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
AIDC ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	AIDC センサでエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ﾌｪｲﾀﾙｴﾗｰ ｺｰﾄﾞ:XX	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	USB またはイーサネットインターフェースで通信エラーが検出されました。	インターフェースケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が変わらない場合は、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ｴﾝｼﾞﾝﾂｳｼﾌﾞ ｴﾗｰ	エンジン通紙部でエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
RAM ｴﾗｰ	RAM リード・ライトエラーが検出されました。	
DIMM ｴﾗｰ	SDRAM DIMM エラーが検出されました。	
ROM ｴﾗｰ	ROM エラーが検出されました。	
ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｴﾗｰ	プリンタ内部で制御エラーが検出されました。	

オプションの取り付け

10

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明	オプション番号
メモリ（DIMM）	512 MB DIMM（バッファ付）	2600760-100
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。	1710579-100
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付	1710578-100
カメラダイレクトプリントカード	ダイレクトプリントを行なう場合は、本カードが必要です。	2600773-100

カメラダイレクトプリントカードの取り付け方法については、カメラダイレクトプリントカードに同梱されるインストレーションガイドをごらんください。カメラダイレクトプリントカードの販売については、販売店や printer.konicaminolta.jp でご確認ください。

ご注意

オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

プリンタコントローラボードや部品を取り扱う前、またプリンタコントローラボードを取り外す前に、接地面に触れて、体についている静電気を放電してください。また、放電した後は、歩き回らないでください。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには、標準で 64 MB のメモリが付属しています。増設メモリ（DIMM）を取り付けることにより、最大 576 MB のメモリまでプリンタをアップグレードすることができます。メモリスロットは 1 つ使用できます。

メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA 純正品の 512 MB DIMM をご使用ください。

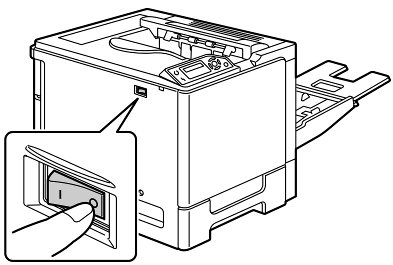
複雑で画像の多いページを、高い解像度（2400 × 600 dpi）で両面フルカラー印刷する場合、プリンタドライバの「用紙」タブにある「トランスミットワンス」を使用して印刷する場合、ダイレクトプリントで「ファイン」（2400 × 600 dpi）の解像度で印刷する場合に増設メモリが必要になります。

メモリの取り付けかた

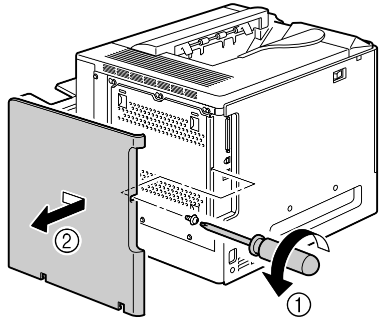
ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.160）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

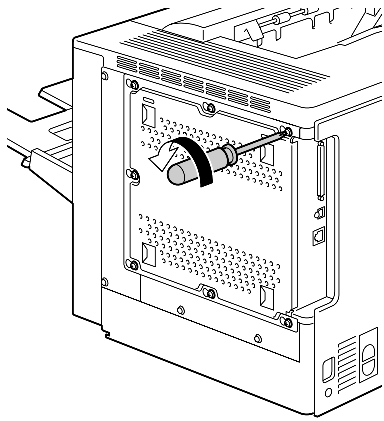
1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。



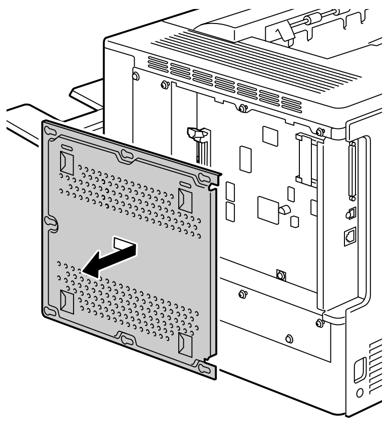
2 ドライバを使ってねじを取り外し（①)、背面のカバーを右へずらして取り外します（②)。



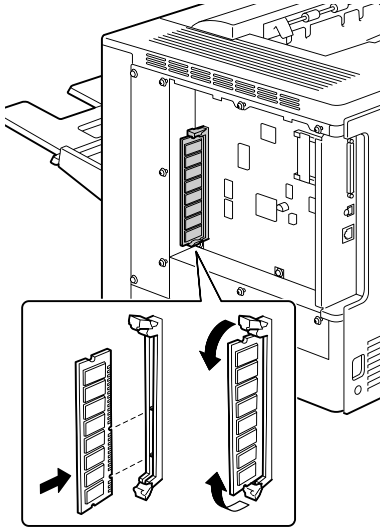
3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）



4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。



5 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

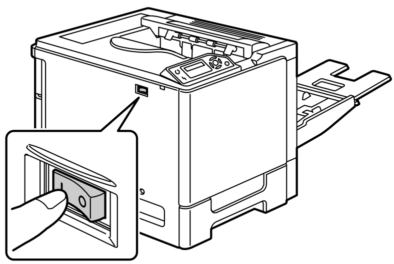


6 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

7 背面のカバーを取り付けます。

8 インターフェースケーブルを接続します。

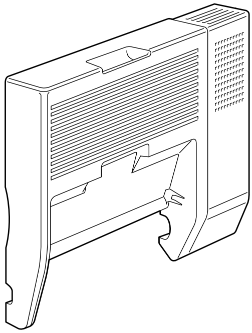
9 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



10 トウケイデータページを印刷（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）し、プリンタに装着されているメモリの総容量の表示を確認します。
（「トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する」（p.118）をごらんください。）

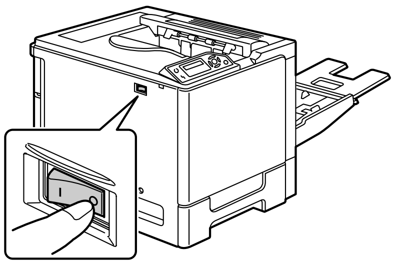
両面プリントユニット の取り付け

両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、自動的に両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.80）をごらんください。

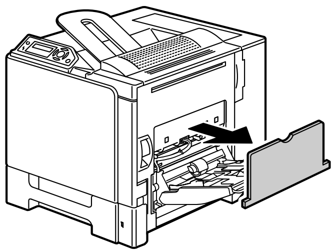


両面プリントユニットの取り付けかた

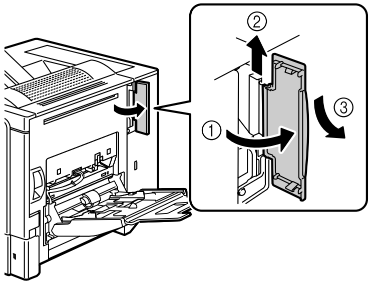
1 プリンタの電源を切ります。



2 右ドアについているカバーを取り外します。

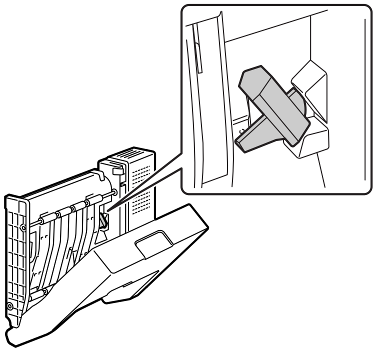


3 右ドアの横についている扉を取り外します。

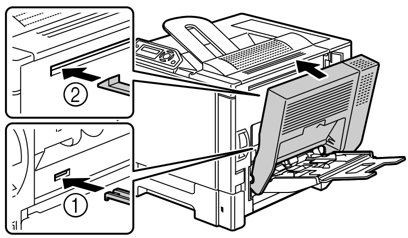


4 両面プリントユニットを用意します。

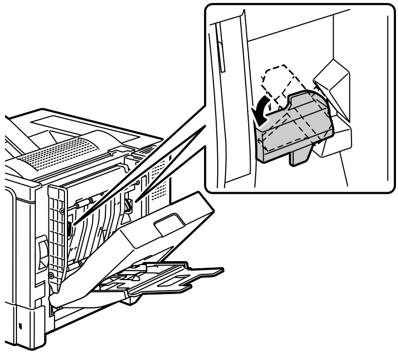
取付ける前に両面プリントユニットのカバーを開け、つまみの位置が図のようになっているか確認してください。確認後、カバーは閉じてください。



5 図のように両面プリントユニットを取付けます。

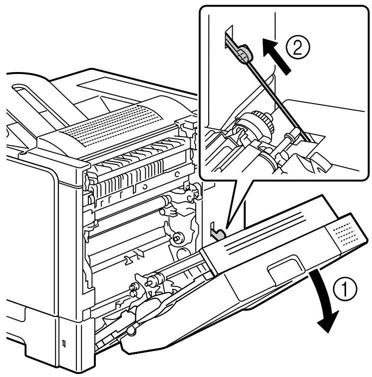


6 両面プリントユニットのカバーを開け、つまみを反時計回りに回し水平にします。
両面プリントユニットが右ドアに固定されます。
両面プリントユニットのカバーを閉じます。

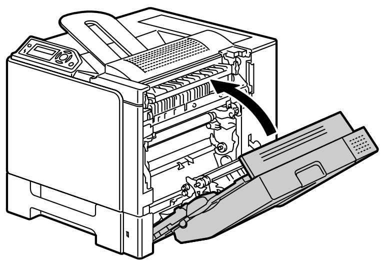


7 レバーを引き、右ドアを開け（①）、両面プリントユニットのサポートワイヤをプリンタに取付けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ず手差しトレイをたたんでから開けてください。



8 右ドアを閉じます。



9 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブで両面印刷ユニットがインストール済みオプションになっていることを確認します。

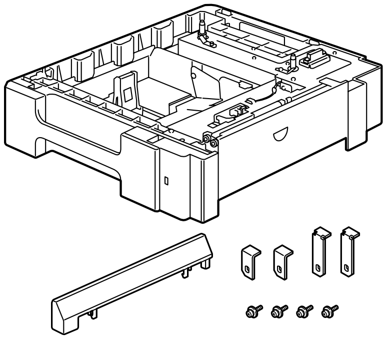
インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.8）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

給紙ユニット（トレイ 2/3）の取り付け

最大 2 つの給紙ユニット（トレイ 2/3）を取り付けることができます。それぞれの給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

給紙ユニットの構成

- 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）
- 固定板
  - 前面固定用（2 個）
  - 背面固定用（2 個）
- ネジ（4 個）
- 搬送ガイド（トレイ 2 のみ使用）

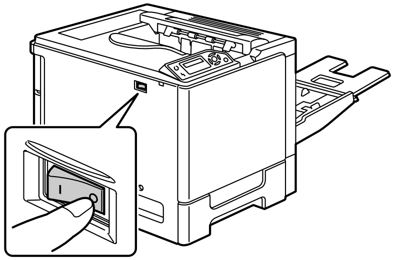


給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

1 プリンタの電源を切り、全てのケーブルを取り外します。

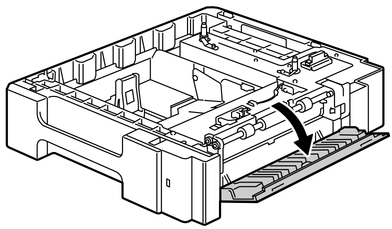


2 給紙ユニットを用意します。

給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

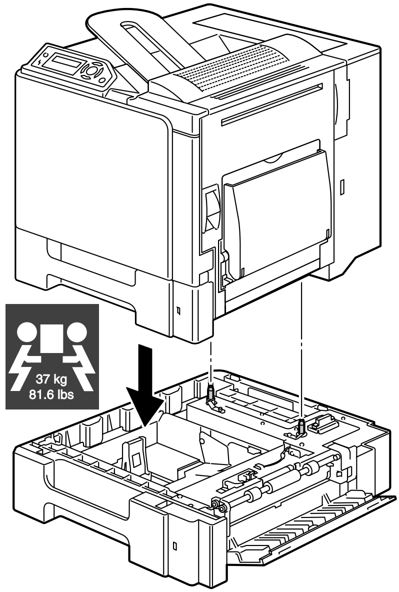
3 給紙ユニットの右ドアを開きます。

必ず給紙ユニットの右ドアを開いてからプリンタをセットしてください。



4 プリンタを２人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。

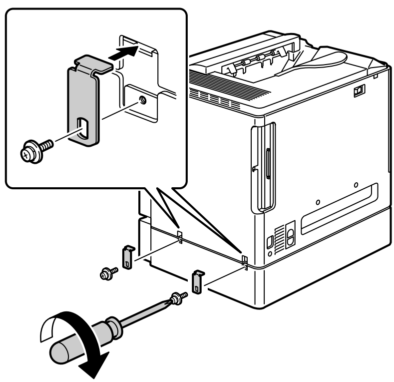
給紙ユニットを２段増設する場合は、プリンタを取り付ける前に２つの給紙ユニットを重ねて固定しておいてください。



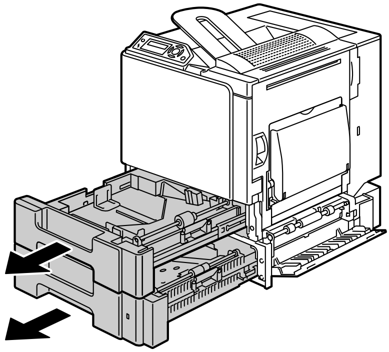
警告

本プリンタは消耗品を含めて約 37 kgの重量があります。プリンタを持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。

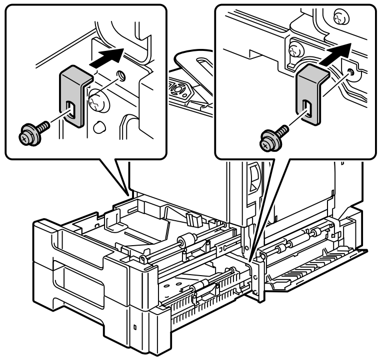
5 ドライバで背面の固定板を 2ヵ所に取付けます。



6 トレイを引き出します。



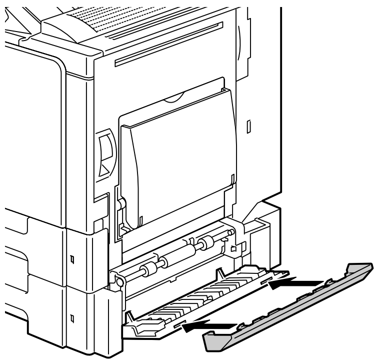
7 前面の固定板を2箇所に取付けます。



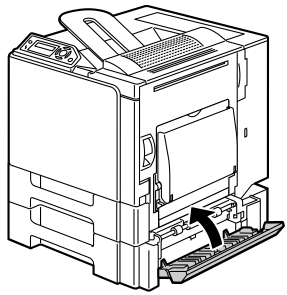
8 トレイを閉じます。

9 トレイ2の右ドアに搬送ガイドを取り付けます。

トレイ3の右ドアには搬送ガイドを取り付ける必要はありません。



10 給紙ユニットの右ドアを閉じます。



11 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブでトレイ 2（トレイ 3）がインストール済みオプションになっていることを確認します。

インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.8）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

付録

A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 電子写真方式
露光方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	2400 dpi × 600 dpi、1200 dpi × 600 dpi 600 dpi × 600 dpi、
ファーストプリント時間（普通紙）	片面（600 dpi） モノクロ／フルカラー： 14.2 秒（A4 の場合） モノクロ／フルカラー： 14.1 秒（レターの場合） 両面（600 dpi） モノクロ／フルカラー： 22.3 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	片面（600 dpi） モノクロ／フルカラー： 25.6 枚／分（A4 の場合） モノクロ／フルカラー： 27 枚／分（レターの場合） 両面（600 dpi） モノクロ／フルカラー： 12.3 枚／分（A4 の場合） モノクロ／フルカラー： 12.5 枚／分（レターの場合）
ウォームアップ時間	起動時平均 30 秒

用紙サイズ	トレイ 1 A4 ／レター トレイ 2/3（オプション） B5 ～リーガル 手差しトレイ 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm
用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙 1（91 ～ 150 g/m^2） • 厚紙 2（151 ～ 210 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙
給紙容量	トレイ 1 普通紙、再生紙：500 枚 トレイ 2/3（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚 手差しトレイ 普通紙、再生紙：100 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙、OHP フィルム、 光沢紙、レターヘッド：20 枚
排紙容量	排紙トレイ：250 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz

消費電力	最大消費電力：1250 W 以下 モノクロ印刷時：800 W 以下 フルカラー印刷時：800 W 以下 スタンバイ時：170 W 以下 節電モード時：42.9 W 以下 電源オフ時：0 W
電流	13 A 以下
ノイズレベル	印刷時：54 dB 以下 スタンバイ時：39 dB 以下
外形寸法	高さ：440 mm（操作パネル部含む） 幅：455 mm 奥行：520 mm
質量	プリンタ本体：約 31 kg トナーカートリッジ： 製品に付属のカートリッジ： 1.42 kg（Y、M、C）／ 1.46 kg（K） 交換用カートリッジ： 1.52 kg（Y、M、C）／ 1.55 kg（K） 交換用カートリッジ（大容量）： 1.65kg（Y、M、C）／ 1.68 kg（K）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット
CPU	ARM9 926EJ-S 200MHz
メモリ	64 MB（最大 576 MB まで拡張可能）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 一定環境内 * での印刷 3,000 ページ以上（連続印刷） 2,750 ページ以上（間欠印刷） 一定環境外での印刷 2,400 ページ以上（連続印刷） 2,200 ページ以上（間欠印刷：2P/J） 交換用トナーカートリッジ： 一定環境内での印刷 6,000 ページ以上（連続印刷） 5,500 ページ以上（間欠印刷：2P/J） 一定環境外での印刷 4,800 ページ以上（連続印刷） 4,400 ページ以上（間欠印刷：2P/J） 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 一定環境内での印刷 12,000 ページ以上（連続印刷） 11,000 ページ以上（間欠印刷：2P/J） 一定環境外での印刷 9,600 ページ以上（連続印刷） 8,800 ページ以上（間欠印刷：2P/J）
廃トナーボトル	約 40,000 ページ（モノクロ） 約 10,000 ページ（フルカラー）
備考：* 一定環境 = 温度 15 ～ 25°C、湿度 35 ～ 70%	

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

定期交換部品	平均の寿命の目安
転写ローラー （オゾンフィルタ）	約 120,000 ページ
転写ベルトユニット	約 120,000 ページ
定着ユニット	約 150,000 ページ（連続印刷） 約 130,000 ページ（間欠印刷：2P/J）
給紙ローラー	約 300,000 ページ

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記サポートセンターにお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9：00 ～ 12：00、午後 1：00 ～ 5：00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

再生紙の使用について

本機は、古紙 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

索引

よ

ら

り

れ